

シラバスを参照したい科目をクリックしてください。



タイトル	開講所属	時間割コード	授業科目名			担当 教員	対象年次	学期	曜日・ 校時	開講期間	
2013年度 シラバス (教養教育 科目)	教養教育-教養教育 自由選択科目	20130566011001	●日本国憲法	和	E	評	小林 寛	1年,2年,3年,4年	前期	火2	～
2013年度 シラバス (教養教育 科目)	教養教育-教養教育 自由選択科目	20130566011002	●日本国憲法	和	E	評	井田 洋 子	1年,2年,3年,4年	前期	火2	～
2013年度 シラバス (教養教育 科目)	教養教育-教養教育 自由選択科目	20130566011003	●日本国憲法	和	E		植木 と み子	1年,2年,3年,4年	前期	水5	～
2013年度 シラバス (教養教育 科目)	教養教育-教養教育 自由選択科目	20130566011004	●日本国憲法	和	E	評	植木 と み子	1年,2年,3年,4年	前期	水6	～
2013年度 シラバス (教養教育 科目)	教養教育-教養教育 自由選択科目	20130566011005	●日本国憲法	和	E		植木 と み子	1年,2年,3年,4年	後期	水6	～
2013年度 シラバス (教養教育 科目)	教養教育-教養教育 自由選択科目	20130568003001	●物理学	和	E		才本 明 秀	1年,2年,3年,4年	後期	水5	～
2013年度 シラバス (教養教育 科目)	教養教育-教養教育 自由選択科目	20130569000701	●解放講座	和	E		阿南 重 幸	1年,2年,3年,4年	前期	水5	～
2013年度 シラバス (教養教育 科目)	教養教育-教養教育 自由選択科目	20130569000702	●解放講座	和	E		阿南 重 幸	1年,2年,3年,4年	後期	水5	～
2013年度 シラバス (教養教育 科目)	教養教育-教養教育 自由選択科目	20130569001001	●共同授業	和	E		上江田 一雄	1年,2年,3年,4年	集中 (前)	時間割 外	～
2013年度 シラバス (教養教育 科目)	教養教育-教養教育 自由選択科目	20130569001101	●全学乗船実 習	和	E		高山 久 明	1年,2年,3年,4年	集中 (後)	時間割 外	～
2013年度 シラバス (教養教育 科目)	教養教育-教養教育 自由選択科目	20130569061401	●オランダの文 化	和	E		山下 龍	1年,2年,3年,4年	後期	水5	～
2013年度	教養教										

シラバス一覧

シラバス (教養教育 科目)	育-教養教育 自由選 択科目	20130569061501	●オランダの言 語	和	E		山下 龍	1年,2年,3年,4年	前期	水5	～
2013年度 シラバス (教養教育 科目)	教養教育-教養教育 自由選 択科目	20130569062801	●長崎学	和	E		姫野 順 一	1年,2年,3年,4年	前期	水5	～
2013年度 シラバス (教養教育 科目)	教養教育-教養教育 自由選 択科目	20130569062802	●長崎学	和	E		姫野 順 一	1年,2年,3年,4年	後期	水5	～
2013年度 シラバス (教養教育 科目)	教養教育-教養教育 自由選 択科目	20130588000101	●特別活動論	和	E		柳田 泰 典	1年,2年,3年,4年	集中 (後)	時間割 外	～
2013年度 シラバス (教養教育 科目)	教養教育-教養教育 自由選 択科目	20130588000401	●教育方法・技 術論	和	E		高山 久 明	1年,2年,3年,4年	集中 (前)	時間割 外	～
2013年度 シラバス (教養教育 科目)	教養教育-教養教育 自由選 択科目	20130588000701	●生徒・進路指 導論				江頭 明 文	1年,2年,3年,4年	前期	水5	～
2013年度 シラバス (教養教育 科目)	教養教育-教養教育 自由選 択科目	20130588005001	●私たちと法	和	E		江口 勇 治	1年,2年,3年,4年	集中 (前)	時間割 外	～
2013年度 シラバス (教養教育 科目)	教養教育-教養教育 自由選 択科目	20130588005101	●日本の思想文 化	和	E		佐久間 正	1年,2年,3年,4年	前期	水5	～
2013年度 シラバス (教養教育 科目)	教養教育-教養教育 自由選 択科目	20130588005201	●ジェンダーと 法	和	E		植木 と み子	1年,2年,3年,4年	後期	水5	～
2013年度 シラバス (教養教育 科目)	教養教育-教養教育 自由選 択科目	20130588005301	●芸術と文化	和	E		堀内 伊 吹	1年,2年,3年,4年	後期	水5	～
2013年度 シラバス (教養教育 科目)	教養教育-教養教育 自由選 択科目	20130588005401	●共生のグロー バル人類学	和	E		増田 研	1年,2年,3年,4年	後期	水5	～
2013年度 シラバス (教養教育 科目)	教養教育-教養教育 自由選 択科目	20130588005501	●社会学	和	E		南 誠	1年,2年,3年,4年	後期	水5	～
2013年度 シラバス (教養教育 科目)	教養教育-教養教育 自由選 択科目	20130588005601	●日本の言語と 文化	和	E		池田 幸 恵	1年,2年,3年,4年	前期	水5	～
2013年度 シラバス (教養教育 科目)	教養教育-教養教育 自由選 択科目	20130588010001	●平成長崎塾	和	E	評	高橋 正 克	1年,2年,3年,4年	前期	水5	～
2013年度 シラバス (教養教育 科目)	教養教育-教養教育 自由選 択科目	20130588010101	●男女共同参画 のすすめ	和	E		大井 久 美子	1年,2年,3年,4年	後期	水5	～

シラバス一覧

科目)	択科目										
2013年度 シラバス (教養教育 科目)	教養教育-教養教育 自由選択科目	20130588010201	●疑似科学との つき合い方	和	E		武藤 浩 二	1年,2年,3年,4年	前期	水5	～
2013年度 シラバス (教養教育 科目)	教養教育-教養教育 自由選択科目	20130588015001	●基礎物理	和	E	評	田川 直 行	1年,2年,3年,4年	前期	水5	～
2013年度 シラバス (教養教育 科目)	教養教育-教養教育 自由選択科目	20130588015002	●基礎物理	和	E		田川 直 行	1年,2年,3年,4年	前期	水6	～
2013年度 シラバス (教養教育 科目)	教養教育-教養教育 自由選択科目	20130588015003	●基礎物理	和	E		田川 直 行	1年,2年,3年,4年	後期	水5	～
2013年度 シラバス (教養教育 科目)	教養教育-教養教育 自由選択科目	20130588015101	●基礎化学	和	E	評	筒井 保 之	1年,2年,3年,4年	前期	水5	～
2013年度 シラバス (教養教育 科目)	教養教育-教養教育 自由選択科目	20130588015102	●基礎化学	和	E		筒井 保 之	1年,2年,3年,4年	後期	水5	～
2013年度 シラバス (教養教育 科目)	教養教育-教養教育 自由選択科目	20130588015201	●基礎生物	和	E	評	平倉 充	1年,2年,3年,4年	前期	水5	～
2013年度 シラバス (教養教育 科目)	教養教育-教養教育 自由選択科目	20130588015202	●基礎生物	和	E		平倉 充	1年,2年,3年,4年	前期	水6	～
2013年度 シラバス (教養教育 科目)	教養教育-教養教育 自由選択科目	20130588015203	●基礎生物	和	E		平倉 充	1年,2年,3年,4年	後期	水5	～
2013年度 シラバス (教養教育 科目)	教養教育-教養教育 自由選択科目	20130588015301	●基礎数学	和	E		田元 正 明	1年,2年,3年,4年	前期	水5	～
2013年度 シラバス (教養教育 科目)	教養教育-教養教育 自由選択科目	20130588015302	●基礎数学	和	E		田元 正 明	1年,2年,3年,4年	前期	水6	～
2013年度 シラバス (教養教育 科目)	教養教育-教養教育 自由選択科目	20130588015303	●基礎数学	和	E		田元 正 明	1年,2年,3年,4年	後期	水5	～
2013年度 シラバス (教養教育 科目)	教養教育-教養教育 自由選択科目	20130588015401	●基礎英語	和	E	評	金子 修 司	1年,2年,3年,4年	前期	水5	～
2013年度 シラバス (教養教育 科目)	教養教育-教養教育 自由選択科目	20130588015402	●基礎英語	和	E		金子 修 司	1年,2年,3年,4年	前期	水6	～

2013年度 シラバス (教養教育 科目)	教養教 育-教養教 育 自由選 択科目	20130588015403	●基礎英語	和	E	金子 修 司	1年,2年,3年,4年	後期	水5	～
2013年度 シラバス (教養教育 科目)	教養教 育-教養教 育 自由選 択科目	20130588020901	●English for Specific Purposes (A)	和	E	廣江 頭	1年,2年,3年,4年	前期	水5	～
2013年度 シラバス (教養教育 科目)	教養教 育-教養教 育 自由選 択科目	20130588021001	●English for Specific Purposes (B)	和	E	廣江 頭	1年,2年,3年,4年	後期	水5	～
2013年度 シラバス (教養教育 科目)	教養教 育-教養教 育 自由選 択科目	20130590090501	●平和講座	和	E	戸田 清	1年,2年,3年,4年	前期	水5	～
2013年度 シラバス (教養教育 科目)	教養教 育-教養教 育 自由選 択科目	20130590090502	●平和講座	和	E	戸田 清	1年,2年,3年,4年	後期	水5	～
2013年度 シラバス (教養教育 科目)	教養教 育-教養教 育 自由選 択科目	20130590090601	●キャリア概 論	和	E	深尾 典 男	1年,2年,3年,4年	前期	水5	～



タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 自由選択科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	火2																				
開講期間																							
必修選択	選択	単位数	2.0																				
時間割コード	20130566011001	科目番号	05660110																				
授業科目名	●日本国憲法																						
編集担当教員	小林 寛																						
授業担当教員名(科目責任者)	小林 寛																						
授業担当教員名(オムニバス科目等)	小林 寛																						
科目分類	自由選択科目、人文・社会科学科目																						
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	講義科目																				
教室	[教養A棟]A-21																						
対象学生（クラス等）	全学部																						
担当教員Eメールアドレス	hkoba@nagasaki-u.ac.jp																						
担当教員研究室	428																						
担当教員TEL	095-819-2725																						
担当教員オフィスアワー	木曜日午後3時～5時																						
授業のねらい	日本国憲法において保障された個別の基本的人権を取り上げつつ、日本国憲法の基本原理の一つである基本的人権の尊重の理念を理解できることをねらいとします。																						
授業方法（学習指導法）	通常の講義形式により授業を行う。適宜発問するなどして理解を確認します。																						
授業到達目標	基本的人権の尊重の理念及び個別の基本的人権の内容や限界等について理解し、これを自らの言葉で説明できるようになることを到達目標とします。																						
授業内容	<p>本授業では、日本国憲法において保障されている基本的人権の原理・内容・限界等について講義を行います。本授業では、基本的人権を中心的テーマとするが、それに限定せず、立憲主義・憲法史・統治機構等についても可能な範囲で言及する予定です。また、過去の具体的事件を取り上げつつ講義を行う予定である。ただし、以下に掲げるのはおおよその予定であり、解説の追加等により、適宜変更される場合もあります。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>イントロダクション・立憲主義の概説</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>憲法史の概説</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>日本国憲法の基本原理</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>基本的人権の原理と限界</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>包括的基本権</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>法の下での平等</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>精神的自由権①</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>精神的自由権②</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>精神的自由権③</td> </tr> </tbody> </table>			回	内容	1	イントロダクション・立憲主義の概説	2	憲法史の概説	3	日本国憲法の基本原理	4	基本的人権の原理と限界	5	包括的基本権	6	法の下での平等	7	精神的自由権①	8	精神的自由権②	9	精神的自由権③
回	内容																						
1	イントロダクション・立憲主義の概説																						
2	憲法史の概説																						
3	日本国憲法の基本原理																						
4	基本的人権の原理と限界																						
5	包括的基本権																						
6	法の下での平等																						
7	精神的自由権①																						
8	精神的自由権②																						
9	精神的自由権③																						

	10	経済的自由権①
	11	経済的自由権②
	12	人身の自由・国務請求権・参政権
	13	社会権
	14	統治機構の概説①
	15	統治機構の概説②
	16	定期試験
キーワード	人権尊重主義、平和主義、国民主権原理	
教科書・教材・参考書	教科書：芦部信喜（高橋和之補訂）『憲法第五版』（岩波書店、2011年）	
成績評価の方法・基準等	定期試験（80%） 授業への積極的な取り組み状況（20%）	
受講要件（履修条件）	憲法などの法律科目に関心のある学生の受講を期待しています。	
本科目の位置づけ		
学習・教育目標		
備考（URL）		
備考（準備学習等）		



タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 自由選択科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	火2
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20130566011002	科目番号	05660110
授業科目名	●日本国憲法		
編集担当教員	井田 洋子		
授業担当教員名(科目責任者)	井田 洋子		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	井田 洋子		
科目分類	自由選択科目、人文・社会科学科目		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	講義科目
教室	[教養A棟]A-24		
対象学生（クラス等）			
担当教員Eメールアドレス	smile@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	[経]本館506		
担当教員TEL	095-820-6401		
担当教員オフィスアワー	木曜日12：30～14：00		
授業のねらい	現日本国憲法が掲げる普遍的原理としての基本的人権の尊重・国民主権・権力分立と、独自の価値としての戦争放棄及び象徴天皇制について、それぞれ、具体的事例の検証や他国の憲法状況との比較を交えながら考察する。そうした作業を通して、現日本国憲法の存在意義のみならず、「憲法」という法規範そのものの存在意義を探究することを目指す。		
授業方法（学習指導法）	講義形式にて行う。なお、教科書を使用するほか、授業内容に関するレジュメ(毎回)及び関連する判例(適宜)を配布する。また、教員側による一方的な講義にならないよう、定期的なレポート提出によって、受講生に意見を述べる機会を保障する。		
授業到達目標	受講生が、①「憲法」の存在を身近なものとして捉えること、②様々な憲法問題を自らの生活に深く関わる問題として受け止めかつ考えること、なかでも、③現在再燃してきた憲法「改正」を巡る問題に対して、それが国の根本的なかたちを変えることに繋がっているという認識をもったうえで、主権者として主体的に関わろうとする姿勢を涵養すること、の3点を目指す。		
	最初に、憲法を学ぶ上で欠かせないいくつかの基本概念について、一通り説明する。その後、人権問題、国家権力や戦争放棄を巡る問題等、多岐に亘る憲法問題の中から、毎回ひとつずつテーマを取り上げ、それについて国内外の具体的事例を引きながら考察を深めていく。		
	回	内容	
	1	第1回 4月9日 憲法とはなにか 基本概念の説明—法治国家、基本的人権、国民主権、民主主義、立憲主義等。	
	2	第2回 4月16日 象徴天皇制—大日本帝国憲法下での天皇制との比較、国民主権原理とのかかわり	
	3	第3回 4月23日 国民主権と選挙制度	
	4	第4回 4月30日 男女平等を巡る問題	
	5	第5回 5月7日 政教分離問題	

授業内容	6	第6回 5月14日 表現の自由1－表現の自由の意義と限界
	7	第7回 5月21日 表現の自由2－マス・メディアの表現の自由
	8	第8回 5月28日 表現の自由3－プライバシーの権利とのかかわり
	9	第9回 6月4日 刑事手続・裁判員制度
	10	第10回 6月11日 生存権・環境権
	11	第11回 6月18日 外国人の人権
	12	第12回 6月25日 国家権力の構造－立法権と行政権との関係
	13	第13回 7月2日 司法－違憲立法審査権
	14	第14回 7月9日 戦争放棄1
	15	第15回 7月16日 戦争放棄2－憲法改正問題とのかかわり
	16	第16回 8月6日 定期試験
キーワード	個人・国家・基本的人権・民主主義・立憲主義	
教科書・教材・参考書	教科書：大隈義和・大江正昭編『憲法学へのいざない』青林書院。 参考書：『セレクト六法』岩波書店、『コンパクト六法』有斐閣等、いずれかの六法書。	
成績評価の方法・基準等	レポート40%、定期試験60%の総合評価とする。なお、出席率が低い場合には、定期試験の受験資格を失うものとする。	
受講要件（履修条件）	特になし。	
本科目の位置づけ		
学習・教育目標		
備考（URL）		
備考（準備学習等）	新聞やテレビ等で定期的にニュースをチェックすることが、この授業の内容の理解を深めるために有用である。	



タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 自由選択科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	水5														
開講期間																	
必修選択	選択	単位数	2.0														
時間割コード	20130566011003	科目番号	05660110														
授業科目名	●日本国憲法																
編集担当教員	植木 とみ子																
授業担当教員名(科目責任者)	植木 とみ子																
授業担当教員名(オムニバス科目等)	植木 とみ子																
科目分類	自由選択科目、(教職免許科目他)、人文・社会科学科目																
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	講義科目														
教室	[教養C棟]C-16																
対象学生 (クラス等)	全学生																
担当教員Eメールアドレス	tuterrace@fcv.ne.jp																
担当教員研究室	非常勤講師室																
担当教員TEL	092-521-6851																
担当教員オフィスアワー	上記または 090-4994-5830 にTELしてご相談下さい																
授業のねらい	日本国憲法が、いかに日本国民にとって大切なものであるか、私たちの権利も義務も基本的にこの日本国憲法によって守られていること、そしてこの日本国憲法を守るのもまた私たち自身であることの自覚を持っていただくことを目的としています																
授業方法 (学習指導法)	必要最小の限度で講義形式で憲法の概要を説明しますが、基本的には実際に争われた裁判の事例を検討することにより、憲法がいかに市民生活に身近でたいせつなものであるかを、実感していただけるような授業を展開したいと考えています。そのため授業の3回目あたりから、裁判形式でみなさんの積極的なディベートを期待しています																
授業到達目標	日本国を支える一員として、日本国憲法の全体を理解し、大切な条文は誦んじていただくことを期待します																
	<p>まず、日本国憲法の重要性について、つぎに日本国憲法の基本的理念である国民主権と平和主義について、講義します。基本的人権については、包括的基本権と法の下での平等、さらに各種の自由権や社会権について、できるだけ身近な判例を数多く取り上げ、検討して参ります。統治機構については、その仕組みを理解し、健全な批判精神をもっていただくために、日々の社会事象を取り上げたいと考えています。</p> <p>日本国憲法は、関係する条文を毎回確認していきますので、どのような形でも結構ですから、必ず入手して下さい</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>法とはなにか、憲法と他の法律との関係</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>国民主権 (大日本帝国憲法と日本国憲法)</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>平和主義 (憲法9条、沖縄)</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>幸福追求権 (プライバシーの権利、自己決定権)</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>法の下での平等 (男女は平等か、尊属殺について)</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>内心の自由 (信教の自由、政教分離、学問の自由と大学の自治)</td> </tr> </tbody> </table>			回	内容	1	法とはなにか、憲法と他の法律との関係	2	国民主権 (大日本帝国憲法と日本国憲法)	3	平和主義 (憲法9条、沖縄)	4	幸福追求権 (プライバシーの権利、自己決定権)	5	法の下での平等 (男女は平等か、尊属殺について)	6	内心の自由 (信教の自由、政教分離、学問の自由と大学の自治)
回	内容																
1	法とはなにか、憲法と他の法律との関係																
2	国民主権 (大日本帝国憲法と日本国憲法)																
3	平和主義 (憲法9条、沖縄)																
4	幸福追求権 (プライバシーの権利、自己決定権)																
5	法の下での平等 (男女は平等か、尊属殺について)																
6	内心の自由 (信教の自由、政教分離、学問の自由と大学の自治)																

授業内容	7	表現の自由（ポルノ・有害図書、報道の自由と限界、教科書検定）
	8	経済的自由（職業選択の自由と営業の規制、私有財産の保障とその制限）
	9	人身の自由（適正手続きとは、死刑制度について）
	10	社会権（生存権と生活保護、教育権は誰のもの、労働基本権）
	11	国務請求権と参政権 基本的人権の限界（公務員、外国人、私的関係）
	12	立法（国会の二院制は必要か、一票の重みの格差）
	13	行政（議員内閣制、行政の肥大化）
	14	司法（裁判所の組織、裁判員制度）
	15	地方自治（地方自治の実態、これからの地方自治のあり方） 憲法の保障（憲法改正に関する諸問題）
	16	定期試験
キーワード		
教科書・教材・参考書	日本国憲法の条文を各自用意して下さい（103条しかありませんから、コピーしてもたいしたことはありません） 裁判例についてはこちらで用意します	
成績評価の方法・基準等	判例や条文に関する試験を実施します	
受講要件（履修条件）		
本科目の位置づけ		
学習・教育目標		
備考（URL）		
備考（準備学習等）		



タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 自由選択科目**」
 シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	水6														
開講期間																	
必修選択	選択	単位数	2.0														
時間割コード	20130566011004	科目番号	05660110														
授業科目名	●日本国憲法																
編集担当教員	植木 とみ子																
授業担当教員名(科目責任者)	植木 とみ子																
授業担当教員名(オムニバス科目等)	植木 とみ子																
科目分類	自由選択科目、(教職免許科目他)、人文・社会科学科目																
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	講義科目														
教室	[教養C棟]C-16																
対象学生（クラス等）	全学生																
担当教員Eメールアドレス	tuterrace@fcv.ne.jp																
担当教員研究室	非常勤講師室																
担当教員TEL	092-521-6851																
担当教員オフィスアワー	上記または 090-4994-5830 にTELしてご相談下さい																
授業のねらい	日本国憲法が、いかに日本国民にとって大切なものであるか、私たちの権利も義務も基本的にこの日本国憲法によって守られていること、そしてこの日本国憲法を守るのもまた私たち自身であることの自覚を持っていただくことを目的としています																
授業方法（学習指導法）	必要最小の限度で講義形式で憲法の概要を説明しますが、基本的には実際に争われた裁判の事例を検討することにより、憲法がいかに市民生活に身近でたいせつなものであるかを、実感していただけるような授業を展開したいと考えています。そのため授業の3回目あたりから、裁判形式でみなさんの積極的なディベートを期待しています																
授業到達目標	日本国を支える一員として、日本国憲法の全体を理解し、大切な条文は誦んじていただくことを期待します																
	<p>まず、日本国憲法の重要性について、つぎに日本国憲法の基本的理念である国民主権と平和主義について、講義します。基本的人権については、包括的基本権と法の下での平等、さらに各種の自由権や社会権について、できるだけ身近な判例を数多く取り上げ、検討して参ります。統治機構については、その仕組みを理解し、健全な批判精神をもっていただくために、日々の社会事象を取り上げたいと考えています。</p> <p>日本国憲法は、関係する条文を毎回確認していきますので、どのような形でも結構ですから、必ず入手して下さい</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>法とはなにか、憲法と他の法律との関係</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>国民主権（大日本帝国憲法と日本国憲法）</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>平和主義（憲法9条、沖縄）</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>幸福追求権（プライバシーの権利、自己決定権）</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>法の下での平等（男女は平等か、尊属殺について）</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>内心の自由（信教の自由、政教分離、学問の自由と大学の自治）</td> </tr> </tbody> </table>			回	内容	1	法とはなにか、憲法と他の法律との関係	2	国民主権（大日本帝国憲法と日本国憲法）	3	平和主義（憲法9条、沖縄）	4	幸福追求権（プライバシーの権利、自己決定権）	5	法の下での平等（男女は平等か、尊属殺について）	6	内心の自由（信教の自由、政教分離、学問の自由と大学の自治）
回	内容																
1	法とはなにか、憲法と他の法律との関係																
2	国民主権（大日本帝国憲法と日本国憲法）																
3	平和主義（憲法9条、沖縄）																
4	幸福追求権（プライバシーの権利、自己決定権）																
5	法の下での平等（男女は平等か、尊属殺について）																
6	内心の自由（信教の自由、政教分離、学問の自由と大学の自治）																

授業内容	7	表現の自由（ポルノ・有害図書、報道の自由と限界、教科書検定）
	8	経済的自由（職業選択の自由と営業の規制、私有財産の保障とその制限）
	9	人身の自由（適正手続きとは、死刑制度について）
	10	社会権（生存権と生活保護、教育権は誰のもの、労働基本権）
	11	国務請求権と参政権 基本的人権の限界（公務員、外国人、私的関係）
	12	立法（国会の二院制は必要か、一票の重みの格差）
	13	行政（議員内閣制、行政の肥大化）
	14	司法（裁判所の組織、裁判員制度）
	15	地方自治（地方自治の実態、これからの地方自治のあり方） 憲法の保障（憲法改正に関する諸問題）
	16	定期試験
キーワード		
教科書・教材・参考書	日本国憲法の条文を各自用意して下さい（103条しかありませんから、コピーしてもたいしたことはありません） 裁判例についてはこちらで用意します	
成績評価の方法・基準等	判例や条文に関する試験を実施します	
受講要件（履修条件）		
本科目の位置づけ		
学習・教育目標		
備考（URL）		
備考（準備学習等）		



タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 自由選択科目**」
 シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	水6														
開講期間																	
必修選択	選択	単位数	2.0														
時間割コード	20130566011005	科目番号	05660110														
授業科目名	●日本国憲法																
編集担当教員	植木 とみ子																
授業担当教員名(科目責任者)	植木 とみ子																
授業担当教員名(オムニバス科目等)	植木 とみ子																
科目分類	自由選択科目、人文・社会科学科目																
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	講義科目														
教室	[教養A棟]A-21																
対象学生（クラス等）	全学生																
担当教員Eメールアドレス	tuterrace@fcv.ne.jp																
担当教員研究室	非常勤講師室																
担当教員TEL	092-521-6851																
担当教員オフィスアワー	上記または 090-4994-5830 にTELしてご相談下さい																
授業のねらい	日本国憲法が、いかに日本国民にとって大切なものであるか、私たちの権利も義務も基本的にこの日本国憲法によって守られていること、そしてこの日本国憲法を守るのもまた私たち自身であることの自覚を持っていただくことを目的としています																
授業方法（学習指導法）	必要最小の限度で講義形式で憲法の概要を説明しますが、基本的には実際に争われた裁判の事例を検討することにより、憲法がいかに市民生活に身近でたいせつなものであるかを、実感していただけるような授業を展開したいと考えています。そのため授業の3回目あたりから、裁判形式でみなさんの積極的なディベートを期待しています																
授業到達目標	日本国を支える一員として、日本国憲法の全体を理解し、大切な条文は誦んじていただくことを期待します																
	<p>まず、日本国憲法の重要性について、つぎに日本国憲法の基本的理念である国民主権と平和主義について、講義します。基本的人権については、包括的基本権と法の下での平等、さらに各種の自由権や社会権について、できるだけ身近な判例を数多く取り上げ、検討して参ります。統治機構については、その仕組みを理解し、健全な批判精神をもっていただくために、日々の社会事象を取り上げたいと考えています。</p> <p>日本国憲法は、関係する条文を毎回確認していきますので、どのような形でも結構ですから、必ず入手して下さい</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>法とはなにか、憲法と他の法律との関係</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>国民主権（大日本帝国憲法と日本国憲法）</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>平和主義（憲法9条、沖縄）</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>幸福追求権（プライバシーの権利、自己決定権）</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>法の下での平等（男女は平等か、尊属殺について）</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>内心の自由（信教の自由、政教分離、学問の自由と大学の自治）</td> </tr> </tbody> </table>			回	内容	1	法とはなにか、憲法と他の法律との関係	2	国民主権（大日本帝国憲法と日本国憲法）	3	平和主義（憲法9条、沖縄）	4	幸福追求権（プライバシーの権利、自己決定権）	5	法の下での平等（男女は平等か、尊属殺について）	6	内心の自由（信教の自由、政教分離、学問の自由と大学の自治）
回	内容																
1	法とはなにか、憲法と他の法律との関係																
2	国民主権（大日本帝国憲法と日本国憲法）																
3	平和主義（憲法9条、沖縄）																
4	幸福追求権（プライバシーの権利、自己決定権）																
5	法の下での平等（男女は平等か、尊属殺について）																
6	内心の自由（信教の自由、政教分離、学問の自由と大学の自治）																

授業内容	7	表現の自由（ポルノ・有害図書、報道の自由と限界、教科書検定）
	8	経済的自由（職業選択の自由と営業の規制、私有財産の保障とその制限）
	9	人身の自由（適正手続きとは、死刑制度について）
	10	社会権（生存権と生活保護、教育権は誰のもの、労働基本権）
	11	国務請求権と参政権 基本的人権の限界（公務員、外国人、私的関係）
	12	立法（国会の二院制は必要か、一票の重みの格差）
	13	行政（議員内閣制、行政の肥大化）
	14	司法（裁判所の組織、裁判員制度）
	15	地方自治（地方自治の実態、これからの地方自治のあり方） 憲法の保障（憲法改正に関する諸問題）
	16	定期試験
キーワード		
教科書・教材・参考書	日本国憲法の条文を各自用意して下さい（103条しかありませんから、コピーしてもたいしたことはありません） 裁判例についてはこちらで用意します	
成績評価の方法・基準等	判例や条文に関する試験を実施します	
受講要件（履修条件）		
本科目の位置づけ		
学習・教育目標		
備考（URL）		
備考（準備学習等）		





タイトル「**2013年度シラバス(教養教育科目)**」、開講所属「**教養教育-教養教育 自由選択科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	水5
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20130568003001	科目番号	05680030
授業科目名	●物理科学		
編集担当教員	才本 明秀		
授業担当教員名(科目責任者)	才本 明秀		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	才本 明秀		
科目分類	自由選択科目、自然科学科目		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	講義科目
教室	[教養B棟]B-44		
対象学生(クラス等)	全学		
担当教員Eメールアドレス	akihide.saimoto@gmail.com		
担当教員研究室	工学部1号館4F 固体力学研究室		
担当教員TEL	095-819-2493		
担当教員オフィスアワー	金曜6校時		
授業のねらい	質点や剛体の運動と弾性体の変形にかかわる力学の法則とその数学モデルを理解し、微分積分学との関係を把握する。また、身近に観察される物体の運動が、どのような物理的法則に基づいているかを考察する。		
授業方法(学習指導法)	講義形式で実施する。		
授業到達目標	力と運動が関連する物理現象の背景を数学的な見地から考察し、簡単な数学モデルで質点や質点系、合体の運動を説明できる能力を身につける。		
授業内容	第1回 ガイダンス 第2回 力学で使う数学の基礎(ベクトルと微分積分) 第3回 力と運動 第4回 運動量と力、力積 第5回 運動方程式の解法 第6回 仕事とエネルギー、保存力 第7回 中間試験 第8回 極座標による運動の記述 第9回 角運動量とモーメント 第10回 座標系の相対運動、遠心力とコリオリ力 第11回 質点系と剛体 第12回 剛体の重心と慣性モーメント 第13回 剛体の運動解析		

	第14回 解析力学の基礎 第15回 講義の総括
キーワード	力、運動、変形
教科書・教材・参考書	教科書:考える力学、兵藤俊夫著、学術図書出版会 その他、必要に応じて参考資料を配布する。
成績評価の方法・基準等	中間試験の結果と学期末試験の総合で、60%以上の得点を得た場合を合格とする。
受講要件(履修条件)	講義への全回出席を原則とし、毎回出欠確認を行う。 やむを得ず欠席する場合、その理由が正当と認められるときには補講を行うので理由を説明すること。
本科目の位置づけ	高校で物理学の基礎と微分積分学を学んだ学生が、物理学と数学の接点に触れる。
学習・教育目標	力学の基礎と面白さを理解させ、さらに深い分野へと学生を導く
備考(URL)	
備考(準備学習等)	簡単な関数の微分積分学を講義の中で多用する。初等関数の微積分について予習しておくこと。



タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 自由選択科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	水5
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20130569000701	科目番号	05690007
授業科目名	●解放講座		
編集担当教員	阿南 重幸		
授業担当教員名(科目責任者)	阿南 重幸		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	阿南 重幸		
科目分類	自由選択科目、A科目 総合科目、総合科学科目		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	講義科目
教室	[G棟4F]文教スカイホール		
対象学生（クラス等）	全学部		
担当教員Eメールアドレス	scykf338@yahoo.co.jp		
担当教員研究室	学外非常勤講師		
担当教員TEL	09045868939		
担当教員オフィスアワー	scykf338@yahoo.co.jp		
授業のねらい	21世紀は「人権の世紀」ともいわれる。本講座は、部落問題を中心に今日社会におけるさまざまな諸問題を、人権の視点で考察することを目的とする。		
授業方法（学習指導法）	講義形式		
授業到達目標	講座開設の意義を踏まえ、世界の人権状況、国内においては、部落問題・アイヌ問題・ハンセン病回復者への差別・在日外国人・冤罪事件の諸状況を歴史的に考察し、理解を深める。		
授業内容	人権に関する世界及び日本の歩みを振り返り、今なお存在する日本の人権課題について、学ぶことを目的とする。人権の観点から見た部落問題、アイヌ問題、在日外国人問題、ハンセン病に係わる問題や冤罪事件等を取り上げ、とくに部落問題ではあやまった歴史観を質したい。また、地域史として、「長崎の被差別部落」を取り上げる。		
	回	内容	
	1	4月10日「解放講座」開設の意義について（藤澤秀雄）	
	2	4月17日 変化する「部落」観（阿南重幸）	
	3	4月24日 変化する部落観（阿南重幸）	
	4	5月1日 日本の近代化とアイヌ問題（阿南重幸）	
	5	5月8日 日本の近代化とアイヌ問題（阿南重幸）	
	6	5月15日 在日外国人の「国籍条項」（阿南重幸）	
	7	5月22日 在日外国人の「国籍条項」（阿南重幸）	
	8	5月29日 ハンセン病と差別（阿南重幸）	
	9	6月5日 ハンセン病と差別（阿南重幸）	
10	6月12日 教科書に見る部落問題（阿南重幸）		

	11	6月19日 教科書に見る部落問題 (阿南重幸)
	12	6月26日 部落の歴史を再考する (阿南重幸)
	13	7月3日 冤罪について、二・三の具体的事例を中心として (藤澤秀雄)
	14	7月10日 冤罪について、二・三の具体的事例を中心として (藤澤秀雄)
	15	7月17日 フィールドワーク「原爆と被差別部落とキリシタン」 (阿南重幸)
	16	
キーワード	知識・態度・技能	
教科書・教材・参考書	テキストは用いない。プリント、資料等を配布する。 ビデオ等を使用する。	
成績評価の方法・基準等	レポートの成績、出席状況を考慮して行う。 レポート 70 出席 30	
受講要件 (履修条件)		
本科目の位置づけ		
学習・教育目標		
備考 (URL)		
備考 (準備学習等)		



タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 自由選択科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	水5
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20130569000702	科目番号	05690007
授業科目名	●解放講座		
編集担当教員	阿南 重幸		
授業担当教員名(科目責任者)	阿南 重幸		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	阿南 重幸, 藤澤 秀雄		
科目分類	自由選択科目、A科目 総合科目、総合科学科目		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	講義科目
教室	[教養G棟]G-38		
対象学生（クラス等）	全学部		
担当教員Eメールアドレス	scykf338@yahoo.co.jp		
担当教員研究室	学外非常勤講師		
担当教員TEL	09045868939		
担当教員オフィスアワー	scykf338@yahoo.co.jp		
授業のねらい	21世紀は「人権の世紀」ともいわれる。本講座は、部落問題を中心に今日社会におけるさまざまな諸問題を、人権の視点で考察することを目的とする。		
授業方法（学習指導法）	講義形式		
授業到達目標	講座開設の意義を踏まえ、世界の人権状況、国内においては、部落問題・アイヌ問題・ハンセン病回復者への差別・在日外国人・冤罪事件の諸状況を歴史的に考察し、理解を深める。		
授業内容	人権に関する世界及び日本の歩みを振り返り、今なお存在する日本の人権課題について、学ぶことを目的とする。人権の観点から見た部落問題、アイヌ問題、在日外国人問題、ハンセン病に係わる問題や冤罪事件等を取り上げ、とくに部落問題ではあやまった歴史観を質したい。また、地域史として、「長崎の被差別部落」を取り上げる。		
	回	内容	
	1	10月2日「解放講座」開設の意義について（藤澤秀雄）	
	2	10月9日 変化する「部落」観（阿南重幸）	
	3	10月16日 変化する部落観（阿南重幸）	
	4	10月23日 日本の近代化とアイヌ問題（阿南重幸）	
	5	10月30日 日本の近代化とアイヌ問題（阿南重幸）	
	6	11月6日 在日外国人の「国籍条項」（阿南重幸）	
	7	11月13日 在日外国人の「国籍条項」（阿南重幸）	
	8	11月20日 ハンセン病と差別（阿南重幸）	
	9	11月27日 ハンセン病と差別（阿南重幸）	
10	12月4日 教科書に見る部落問題（阿南重幸）		

	11	12月11日 教科書に見る部落問題（阿南重幸）
	12	12月18日 部落の歴史を再考する（阿南重幸）
	13	12月25日 冤罪について、二・三の具体的事例を中心として（藤澤秀雄）
	14	12月8日 冤罪について、二・三の具体的事例を中心として（藤澤秀雄）
	15	12月15日 フィールドワーク「原爆と被差別部落とキリシタン」（阿南重幸）
	16	
キーワード	知識・態度・技能	
教科書・教材・参考書	テキストは用いない。プリント、資料等を配布する。 ビデオ等を使用する。	
成績評価の方法・基準等	レポートの成績、出席状況を考慮して行う。 レポート 70 出席 30	
受講要件（履修条件）		
本科目の位置づけ		
学習・教育目標		
備考（URL）		
備考（準備学習等）		



タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 自由選択科目**」
 シラバスの詳細は以下となります。



学期	集中（前	曜日・校時	時間割外
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20130569001001	科目番号	05690010
授業科目名	●共同授業		
編集担当教員	上江田 一雄		
授業担当教員名(科目責任者)	上江田 一雄		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	上江田 一雄		
科目分類	自由選択科目、総合科学科目		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	講義科目
教室			
対象学生（クラス等）			
担当教員Eメールアドレス	kazuo-u@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	環309-3		
担当教員TEL	(095)819-2744		
担当教員オフィスアワー	特別に設けませんので、前もって電話でアポイントメントをとってから来室してください。		
授業のねらい	今年度で37回を数える伝統ある授業（正式名称は第37回九州地区国立大学間合宿共同授業）です。5大学（2月28日現在）の九州地区国立大学法人の学生と教員が一堂に集まり、寝食を共にしながら研修することによって、学生と教員ならびに大学間の交流を深め、かつ、同一テーマについて多面的な授業を展開することが目的です。		
授業方法（学習指導法）	5大学の教員による講義，討議，課外授業および学生フォーラムで構成します。		
授業到達目標	高校まで教わることによって学んできた学生が，知識基盤社会の担い手として学ぶ主体を自らに見出すことです。		
授業内容	<p>（概要）</p> <p>合宿期間は，8月24日（土）～8月27日（火）の3泊4日です。</p> <p>合宿場所は，九州地区国立大学九重共同研修所（大分県玖珠郡九重町湯坪にあって標高約1,000 mの涼しいところ）です。</p> <p>今年度のメイン・テーマは「大学での学習によってどのような能力を展開できるのか」です。</p> <p>本学の学生の募集人員は約12名です。</p> <p>他大学からは，福岡教育大学（約6名），九州大学（約14名），佐賀大学（約12名）および琉球大学（約12名）の学生が参加します。</p> <p>参加費は，交通費・宿泊費・食費込みですが，2月28日現在，未定です。</p> <p>日程や募集等の詳細については，後日，教養教育事務室の掲示物で確認してください。</p>		
キーワード	教養，合宿，学生主体，国立大学間，学生フォーラム，事前学習会		

教科書・教材・参考書	教科書は使用しません。参考書については、後日お知らせします。
成績評価の方法・基準等	事前学習会および合宿共同授業での学習態度（50%）、レポート（50%）で評価します。
受講要件（履修条件）	履修希望者が多い場合は選考の上決定します。
本科目の位置づけ	ありません。
学習・教育目標	
備考（URL）	
備考（準備学習等）	3泊4日の合宿共同授業以外に、5月から7月上旬にかけて週1回の事前学習会を行います。



タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 自由選択科目**」
 シラバスの詳細は以下となります。



学期	集中（後）	曜日・校時	時間割外
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20130569001101	科目番号	05690011
授業科目名	●全学乗船実習		
編集担当教員	高山 久明		
授業担当教員名(科目責任者)	高山 久明		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	高山 久明		
科目分類	自由選択科目、総合科学科目		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	講義科目
教室			
対象学生（クラス等）	全学部		
担当教員Eメールアドレス	kyumei@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	水産学部本館3階		
担当教員TEL	095-819-2809		
担当教員オフィスアワー			
授業のねらい	海と船をより身近な問題として実践的な視点で捉えるため、練習船長崎丸に乗船して航海を体験する。この体験により、海洋環境や海洋生態系、あるいはそれらと人間の営みを肌で感じ、より深く理解すると共に、異分野の学生が船内生活を通して、コミュニケーション能力、多角的視点、協調性などを修養する。		
授業方法（学習指導法）	乗船実習中に操船、海洋観測、トロール操業、魚類の加工、ロープの結び方等の演習を行う。また、一時上陸して、水族館、魚市場等の見学を行う。		
授業到達目標	海洋及び船舶に慣れ、親しみ、航海・運用術、海洋観測の基礎的実習および海・船・人間の関係について関わりを習得。また、船内での団体生活の体験により、協調性・寛容性を習得する。		
授業内容	<p>海には色々な用途を持った船が動いているが、その内の練習船長崎丸は水産学部学生の実習・調査・研究のため運航されている。その船を使って船舶運航、漁労、海洋観測を行い、海洋・船への関心を深める。また、漁獲された魚がどのように人間の生活に関係を持っているか実習・見学にて学ぶ。異分野の学生同士が船内生活を通してコミュニケーションを深めていく。</p> <p>事前講義Ⅰ 実習の目的・概要・船内生活注意・見学施設等について 事前講義Ⅱ 船、海洋観測、トロール操業に関する基礎知識</p> <p>実習1日目 乗船、船内ガイダンス、海洋観測、トロール操業</p> <p>2日目 天候・海況により変更があるが以下の項目を実施する。 海洋観測、トロール操業、漁獲物調査 ロープ結索練習、救命艇操練、船の位置測定</p> <p>3日目 入港、陸上施設見学</p> <p>4日目 陸上施設見学（魚市場等）、出港、魚類加工</p>		

	5日目 下船時のガイダンス、下船、実習の総括、レポート作成 なお、天候・海況によっては実習の内容を大きく変更することがある。
キーワード	練習船・海洋実習・海洋観測
教科書・教材・参考書	
成績評価の方法・基準等	実習への取り組み状況 70% レポート 30%
受講要件（履修条件）	・受講定員は40名（多数の場合は抽選により決定する） ・受講者は必ず損害保険に加入すること ・受講にかかる費用は食費及び陸上施設利用料 合計 8000円程度
本科目の位置づけ	
学習・教育目標	
備考（URL）	
備考（準備学習等）	



タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 自由選択科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	水5																
開講期間																			
必修選択	選択	単位数	2.0																
時間割コード	20130569061401	科目番号	05690614																
授業科目名	●オランダの文化																		
編集担当教員	山下 龍																		
授業担当教員名(科目責任者)	山下 龍																		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	山下 龍																		
科目分類	自由選択科目、総合科学科目																		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	講義科目																
教室	[教養A棟]A-41																		
対象学生（クラス等）	全学生																		
担当教員Eメールアドレス	noboruy@nagasaki-u.ac.jp																		
担当教員研究室	言語教育研究センター																		
担当教員TEL	095-819-2080																		
担当教員オフィスアワー	授業の前後																		
授業のねらい	日本と北ヨーロッパの中心国の一つとして発展してきたオランダとの交流が江戸初期に長崎から始まり、その交流が現在まで400年以上続いています。この講義ではオランダの文化と歴史を中心に、北ヨーロッパの歴史的発展、または、長崎と深い関わりのある日蘭交流について、基本的な知識の修得と文化理解を目的とします。																		
授業方法（学習指導法）	講義形式 この講義の為に作成した資料や視聴覚教材（powerpoint）を利用して、世界史が得意ではない学生にも、より分かりやすく、オランダの文化と歴史を紹介します。																		
授業到達目標	オランダ・北ヨーロッパの文化と歴史、または、日蘭交流についての基本的な知識を修得します。																		
授業内容	<p>ローマ時代前から現在までの歴史上の出来事を説明しながら、オランダの国とその発展を理解させます。オランダを知ることによって北ヨーロッパの文化の発展も理解することができます。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>オランダの紹介</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>9世紀までのオランダ ローマ帝国時代・キリスト教の流布・カール大帝の文化ルネッサンス</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>15世紀までのオランダ オランダ語文学の誕生・貿易国としての発展</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>16世紀までのオランダ エラスムスとヒューマニズム・ルターとプロテスタント教</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>16世紀までのオランダ オランダの独立戦争・ネーデルランデン7州連邦共和国の誕生</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>16世紀までのオランダ 15・16世紀の芸術家たち（ファン・エイク、ブリュゲルなど）</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>17世紀のオランダ オランダ東インド会社の創立・日蘭交流</td> </tr> </tbody> </table>			回	内容	1	オランダの紹介	2	9世紀までのオランダ ローマ帝国時代・キリスト教の流布・カール大帝の文化ルネッサンス	3	15世紀までのオランダ オランダ語文学の誕生・貿易国としての発展	4	16世紀までのオランダ エラスムスとヒューマニズム・ルターとプロテスタント教	5	16世紀までのオランダ オランダの独立戦争・ネーデルランデン7州連邦共和国の誕生	6	16世紀までのオランダ 15・16世紀の芸術家たち（ファン・エイク、ブリュゲルなど）	7	17世紀のオランダ オランダ東インド会社の創立・日蘭交流
回	内容																		
1	オランダの紹介																		
2	9世紀までのオランダ ローマ帝国時代・キリスト教の流布・カール大帝の文化ルネッサンス																		
3	15世紀までのオランダ オランダ語文学の誕生・貿易国としての発展																		
4	16世紀までのオランダ エラスムスとヒューマニズム・ルターとプロテスタント教																		
5	16世紀までのオランダ オランダの独立戦争・ネーデルランデン7州連邦共和国の誕生																		
6	16世紀までのオランダ 15・16世紀の芸術家たち（ファン・エイク、ブリュゲルなど）																		
7	17世紀のオランダ オランダ東インド会社の創立・日蘭交流																		

	8	17世紀のオランダ 黄金時代の芸術（レンブラント・フェルメールなど）・世界貿易中心のオランダ
	9	17世紀のオランダ 黄金時代の学者たち・黄金時代の英雄たち・奴隷制
	10	第10課 18・19世紀のオランダ ナポレオンの時代・ネーデルラント王国の誕生
	11	19・20世紀のオランダ ゴッホの芸術・女性権利運動・第1次世界大戦・20世紀の芸術（モンドリアンなど）
	12	20世紀のオランダ 第2次世界大戦・インドネシアの独立
	13	オランダの宗教・祭り・伝統
	14	オランダの教育・政治・世界の中のオランダ
	15	講義の総括
	16	定期試験
キーワード		
教科書・教材・参考書	教材：プリント教材 毎回配布します。	
成績評価の方法・基準等	成績評価の方法・基準等 成績評価は、○定期試験70%、授業中の提出物30%で行います。	
受講要件（履修条件）	全回出席が原則	
本科目の位置づけ		
学習・教育目標		
備考（URL）		
備考（準備学習等）		



タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 自由選択科目**」
 シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	水5
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20130569061501	科目番号	05690615
授業科目名	●オランダの言語		
編集担当教員	山下 龍		
授業担当教員名(科目責任者)	山下 龍		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	山下 龍		
科目分類	自由選択科目、総合科学科目		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	講義科目
教室	[教養A棟]A-32		
対象学生（クラス等）	全学生		
担当教員Eメールアドレス	info@ryuumon.com		
担当教員研究室	非常勤講師控室		
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	授業の前後		
授業のねらい	初級レベルのオランダ語入門講義です。 授業には、視聴覚教材も使用し、より分かりやすく、より楽しくオランダ語を学習することで、オランダ文化への興味を喚起させることをねらいとしています。		
授業方法（学習指導法）	ネイティブのオランダ人による日本語での講義。 この講義の為に作成した資料を活用し、聞く・話す・書くことを通して聴解・読解・文法を学びます。授業中に学習したことを家庭でCD-ROMを使用して復習してもらいます。		
授業到達目標	初級レベルのオランダ語ができるようにします。資料に示された約600語のオランダ語を修得します。		
授業内容	授業では、資料の第1課 自己紹介から始めます。家庭でCD-ROMを使いながら復習してもらいます。 基本の文法を会話の中に取り入れ、学生に会話をしながら自然に文法を身に付けます。指示された範囲や内容を復習して授業に参加してください。講義での演習とCD-ROMでの復習を通してオランダ語のリズムや音も学びます。また、この資料を用いて、簡単な文を書いてもらい、文法の練習も行います。		
	回	内容	
	1	自己紹介Ⅰ（現在形の作り方・動詞活用）	
	2	相手の事を尋ねるⅠ（一般疑問文・疑問詞を伴う疑問文）	
	3	相手の事を尋ねるⅡ（人称代名詞・否定文）	
	4	自己紹介Ⅱ（形容詞・副詞）	
	5	第1回～第4回の復習	
6	家族の紹介、時計を読む（比較級と最上級）		

	7	一日の予定（名詞の単数・複数形・時刻と場所）
	8	一週間の予定（助動詞の使い方）
	9	約束を交わす（勧誘表現）
	10	第5回～第8回の復習
	11	レストランでの会話（過去時制）
	12	相手の事を尋ねるⅢ（現在完了形）
	13	道を探ねる（命令形）
	14	第9回～第11回の復習
	15	講義の総括 会話の発表
	16	定期試験
キーワード		
教科書・教材・参考書		教材プリント配布 CD-ROM 100円
成績評価の方法・基準等		教材：プリント教材 毎回配布します。成績評価の方法・基準等 成績評価は、○定期試験70%、授業中の発表と提出物30%で行います。
受講要件（履修条件）		全回出席が原則。CD-ROMは必ず購入すること。
本科目の位置づけ		
学習・教育目標		
備考（URL）		
備考（準備学習等）		



タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 自由選択科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	水5
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20130569062801	科目番号	05690628
授業科目名	●長崎学		
編集担当教員	姫野 順一		
授業担当教員名(科目責任者)	姫野 順一		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	姫野 順一, 野上 建紀		
科目分類	自由選択科目、総合科学科目		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	講義科目
教室	[教養A棟]A-21		
対象学生（クラス等）	全学部		
担当教員Eメールアドレス	himeno@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室			
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー			
授業のねらい	長崎の多様な機能と歴史的成り立ちを長崎学という地域学の体系で理解する。		
授業方法（学習指導法）	文書、絵画、古写真、器物などに触れながら、長崎を体系的に学習する。		
授業到達目標	長崎検定に挑戦できる学生の育成をめざす。		
授業内容	回	内容	
	1	長崎の歴史と長崎学	
	2	長崎の誕生	
	3	南蛮貿易と長崎	
	4	唐人貿易と長崎	
	5	長崎の海底遺跡	
	6	長崎の陶磁器産業	
	7	長崎と陶磁器貿易	
	8	長崎とガレオン貿易	
	9	出島の誕生と機能	
	10	蘭学物語	
	11	長崎版画に見るエキゾチシズム	
	12	外国人居留地の形成	

	13	坂本龍馬の長崎訪問
	14	写真の伝来
	15	古写真に見る長崎の世界性
	16	
キーワード	日蘭交渉、日中交渉、出島、蘭学、通詞、古写真、居留地、坂本龍馬、長崎学、原爆	
教科書・教材・参考書	参考書：姫野順一編『出島と西南雄藩』（九州大学出版会）、姫野順一著『龍馬が見た長崎』（朝日選書）、『長崎市史』（長崎市）	
成績評価の方法・基準等	毎回講義の概要をまとめ講義に対する感想を書いて提出する。	
受講要件（履修条件）		
本科目の位置づけ	教養科目として長崎の常識を身につける	
学習・教育目標	長崎の世界性を理解するグローバル人材の養成をめざす。	
備考（URL）		
備考（準備学習等）	図書館の郷土資料コーナーやネットで関連することを調べる習慣をつける。	



タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 自由選択科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	水5
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20130569062802	科目番号	05690628
授業科目名	●長崎学		
編集担当教員	姫野 順一		
授業担当教員名(科目責任者)	姫野 順一		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	姫野 順一		
科目分類	自由選択科目、総合科学科目		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	講義科目
教室	[教養A棟]A-13		
対象学生（クラス等）	全学部		
担当教員Eメールアドレス	himeno@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室			
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー			
授業のねらい	長崎の多様な機能と歴史的成り立ちを長崎学という地域学の体系で理解する。		
授業方法（学習指導法）	文書、絵画、古写真、器物などに触れながら、長崎を体系的に学習する。		
授業到達目標	長崎検定に挑戦できる学生の育成をめざす。		
授業内容	回	内容	
	1	長崎の歴史と長崎学	
	2	長崎の誕生	
	3	南蛮貿易と長崎	
	4	唐人貿易と長崎	
	5	長崎の海底遺跡	
	6	長崎の陶磁器産業	
	7	長崎と陶磁器貿易	
	8	長崎とガレオン貿易	
	9	出島の誕生と機能	
	10	蘭学物語	
	11	長崎版画に見るエキゾチシズム	
	12	外国人居留地の形成	

	13	坂本龍馬の長崎訪問
	14	写真の伝来
	15	古写真に見る長崎の世界性
	16	
キーワード	日蘭交渉、日中交渉、出島、蘭学、通詞、古写真、居留地、坂本龍馬、長崎学、原爆	
教科書・教材・参考書	参考書：姫野順一編『出島と西南雄藩』（九州大学出版会）、姫野順一著『龍馬が見た長崎』（朝日選書）、『長崎市史』（長崎市）	
成績評価の方法・基準等	毎回講義の概要をまとめ講義に対する感想を書いて提出する。	
受講要件（履修条件）		
本科目の位置づけ	教養科目として長崎の常識を身につける	
学習・教育目標	長崎の世界性を理解するグローバル人材の養成をめざす。	
備考（URL）		
備考（準備学習等）	図書館の郷土資料コーナーやネットで関連することを調べる習慣をつける。	



タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 自由選択科目**」
 シラバスの詳細は以下となります。



学期	集中（後）	曜日・校時	時間割外
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20130588000101	科目番号	05880001
授業科目名	●特別活動論		
編集担当教員	柳田 泰典		
授業担当教員名(科目責任者)	柳田 泰典		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	柳田 泰典		
科目分類	自由選択科目		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	講義科目
教室			
対象学生（クラス等）	3年		
担当教員Eメールアドレス	yasunori@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	213室		
担当教員TEL	095-819-2387		
担当教員オフィスアワー	水曜日9時から12時		
授業のねらい	教育実習を分析・交流し教育実践力の高度化をめざす。		
授業方法（学習指導法）	①それぞれの教育実習をまとめる（資料集『私の実習体験』の作製）。 ②4つのユニット：「ほめる－叱る」ユニット、45(50)分授業ユニット、トラブルユニット、学級生活課題・行事ユニットの分析とグループ討論。 ③教育実践の再構成の実施。		
授業到達目標	①教育実習をまとめることができる。 ②4つのユニットの学級指導メッセージの原理と課題について理解することができる。 ③学級指導の課題を明確にし再構成することができる。		
授業内容	①特別活動とはⅠ（映画「チェスト」から考える） ②特別活動とはⅡ（学習指導要領から考える） ③特別活動と教育実践を構成する4つのユニット ④私の実習体験（記録） ⑤私の実習体験（分析） ⑥「ほめる－叱る」ユニットの検討1（あなたメッセージ） ⑦「ほめる－叱る」ユニットの検討2（わたしメッセージ） ⑧45(50)分授業ユニットの検討1（IRE構造） ⑨45(50)分授業ユニットの検討2（授業デザイン） ⑩トラブルユニットの検討1（ごめんね完了型） ⑪トラブルユニットの検討2（Win-Win型） ⑫学級生活課題・行事ユニットの検討1（掃除など） ⑬学級生活課題・行事ユニットの検討2（合唱コンクールなど） ⑭改善課題の明確化と再構成 ⑮再構成プログラムの発表 ⑯まとめ		

キーワード	教育実習の再構成
教科書・教材・参考書	『私の実習体験 2012』等
成績評価の方法・基準等	①実習体験のまとめ 30% ②講義への参加状況 30% ③再構成プログラム 40%
受講要件（履修条件）	
本科目の位置づけ	
学習・教育目標	
備考（URL）	
備考（準備学習等）	



タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 自由選択科目**」
 シラバスの詳細は以下となります。



学期	集中（前	曜日・校時	時間割外
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20130588000401	科目番号	05880004
授業科目名	●教育方法・技術論		
編集担当教員	高山 久明		
授業担当教員名(科目責任者)	高山 久明		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	高山 久明		
科目分類	自由選択科目、教職に関する科目		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	講義科目
教室			
対象学生（クラス等）	2年次		
担当教員Eメールアドレス	kyumei@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	水産海事情報学研究室		
担当教員TEL	内線2809		
担当教員オフィスアワー	講義終了後2週間以内、随時		
授業のねらい	教職に就いた場合に備えて、専門科目の教育方法技術を習得することは勿論であるが、教育の根底にある「教えること」の意味を十分理解し、学校等での教授法（授業方法）について自ら学び実践できる能力を養うとともに、その態度を学ぶ。		
授業方法（学習指導法）	夏季3日～4日の集中講義として実施する。		
授業到達目標	教職に就いた場合に備えて、専門科目の教育方法技術の習得、教育の根底にある「教えること」の意味の理解と学校等での教授法（授業方法）について自ら学び実践できる能力を養うとともに、その態度を養成する。		
授業内容	講義は、午前中に教材の解説を行い、午後は教育方法技術の実践という形で実施し、種々の課題に対するレポート作成や教育方法技術の習得に当てる。2日目以降も同様な形で実施し、課題についてもより高度な教育方法技術に迫る課題と対応する。		
キーワード	教育方法、教育技術、教えること		
教科書・教材・参考書	参考書 大村はま：教えること、ちくま学芸文庫、2004年4月（第10刷） 酒向健、浅見恒行編：教育方法の技術を学ぶ、福村出版、1991年3月 ほか		
成績評価の方法・基準等	出席・課題レポートによる採点による（教材の作成、成績評価管理、参考図書による教師のイメージの自覚と表現等）		
受講要件（履修条件）	特になし		
本科目の位置づけ			
学習・教育目標			
備考（URL）			
備考（準備学習等）			



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



タイトル「**2013年度シラバス(教養教育科目)**」、開講所属「**教養教育-教養教育 自由選択科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	水5
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20130588000701	科目番号	05880007
授業科目名	●生徒・進路指導論		
編集担当教員	江頭 明文		
授業担当教員名(科目責任者)	江頭 明文		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	江頭 明文		
科目分類	自由選択科目、教職に関する科目		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	講義科目
教室	[教養A棟]A-43		
対象学生(クラス等)	1年、2年、3年、4年		
担当教員Eメールアドレス	a-egaega@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	総合教育研究棟206号室		
担当教員TEL	095-819-2089		
担当教員オフィスアワー	随時(要メール連絡)		
授業のねらい	一人ひとりの児童生徒の人格を尊重し、個性の伸長を図りながら、社会的資質や行動力を高めることを目指して行われる教育活動が生徒指導である。このような生徒指導の目的や意義、課題を理解するとともに、目的達成のための技法の習得や資質の向上をねらいとする。		
授業方法(学習指導法)	生徒指導(進路指導)の理念・意義等の講義 事例演習及びディスカッションなど		
授業到達目標	生徒指導や進路指導の理念や技法、児童生徒の支援の在り方等について理解するとともに、実践的指導力を身につける。		
	生徒指導や進路指導の理念や意義、児童生徒が抱える諸課題等についての理解を深めるとともに、実践的な指導力の基礎を主体的に身につけさせるために、以下の手順で学習を進める。		
	回	内容	
	1	生徒指導の意義と原理	
	2	生徒指導と教育課程(目的、内容、方法等)	
	3	児童生徒理解の方法と技術(教育相談等)	
	4	児童生徒理解の方法と技術(全体指導、個別指導等)	

授業内容	5	部活動の意義・在り方と体罰
	6	生徒指導の実際(演習:事例研究)
	7	生徒指導の実際(演習:事例研究)
	8	生徒指導と法
	9	家庭・地域・関係機関との連携
	10	進路指導の理念と意義
	11	進路指導と教育課程
	12	キャリア教育の推進
	13	進路実現に向けた指導の実際
	14	進路実現に向けた指導の実際
	15	生徒指導と進路指導
	16	試験
キーワード	実践的生徒指導力 キャリア教育 児童生徒理解	
教科書・教材・参考書	生徒指導提要(文部科学省 290円)を 生協等で購入しておくこと。 ※その他、必要に応じて講義の中で指示する※	
成績評価の方法・基準等	演習成果資料・レポート(30%) 授業および協議への参画態度(20%) 試験(50%)	
受講要件(履修条件)		
本科目の位置づけ		
学習・教育目標		
備考(URL)		
備考(準備学習等)		



タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 自由選択科目**」
 シラバスの詳細は以下となります。



学期	集中（前	曜日・校時	時間割外
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20130588005001	科目番号	05880050
授業科目名	●私たちと法		
編集担当教員	江口 勇治		
授業担当教員名(科目責任者)	江口 勇治		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	江口 勇治		
科目分類	自由選択科目		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	講義科目
教室			
対象学生（クラス等）	全学生		
担当教員Eメールアドレス	guchiyu@human.tsukuba.ac.jp		
担当教員研究室	非常勤講師室		
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー			
授業のねらい	授業のねらいは、日常生活において求められる法・ルール・きまりの意義やその指導の在り方を考えることから、今求められるリーガル・リテラシーの基礎について、「法教育」の側面から実際にとらえることである。なお授業者は法律学の専門家ではなく、小・中・高校での法教育を訴えてきた教育学の研究者でありその角度から「法」を考える。		
授業方法（学習指導法）	アメリカの小学校で作られたテキストを利用して、「正義・公正」「責任」「権威」「自由」「幸福」などの観念を、日常に生活の実態に移して実際的に考えさせる。授業では設問を用意し、それについて対話するという形式を随時取り入れた。また「法的な見方や考え方」の模擬授業も可能なら計画する。		
授業到達目標	法律学の素人であっても、法・ルール・きまりに向き合うことを理解し、人々とともに規範を共有することの意義と限界を考えられることをこの授業のもっとも基礎的な到達点とする。あわせて一層、法・司法などへの専門的な興味・関心が高まることもねらいたい。		
	集中講義のため、講義をおおよそ四つもパートにわけて、授業内容にメリハリをつける。具体的には、①では「法的な見方や考え方」に向き合うことを共有する講義を実施する。②では、「私たちと法」のテーマとして「正義」「責任」「権威」「自由」について、日常での設問からその実際をそれぞれに考えさせる。③では、そこで共に議論された内容をより深めるために、法的な見方や考え方としてとらえさせる。④では互いに確認されたことを「子供たちに教育する」という視点に立って模擬的な授業をつくりあげる。なおこれまで実施してきた法教育の取り組みや授業の実際についてビデオ等を視聴することも設定する。		
	回	内容	
	1	第一回 オリエンテーション 「私たちと法」の科目の意義と「法教育」についての説明を行う。	
	2	第二回 法教育のこれまでの取り組みと法曹三者の法教育への関与等についての概略を示すとともに、新学習指導要領での法教育の位置づけを講義する。	
	3	第三回 アメリカのテキストを参考に「正義」「責任」を法や司法の側面から考えるこ	

授業内容		との意義を理解するとともに、その共有の仕方等について考える。	
	4	第四回 同様に「権威」『自由』のテーマをもとに話し合い、あわせて我が国の子供たちが学ぶべき「公正」「幸福」「正義」などについて学校教育の側面からとらえることの意義を講義する。	
	5	第五回 「正義」のもとで「私たちと法」の論点から、日常的にな事例を設定し、その問題への向き合い方や解決方法等を互いに話し合い、整理することを通じて「正義」や「公正」の日常的な価値を法とのかかわりからとらえる。	
	6	第六回 『責任』をとらえることの意味を同じように「日常性」から考える設問を設定し、それについての論議を通じて、法的な『責任』とその他の『責任』の異同について互いに話し合う。	
	7	第七回 「権威」『自由』について、政治的な見方、経済的な見方、法的な見方からそれぞれの社会的価値を考えるとともに、私たちの生活においてそれぞれの有効性を、個別具体的な事例をもとに話し合い、法的な見方の特徴を共有する。	
	8	第八回 以上の議論整理の中から重要と思われる具体的な紛争・対立的な構図をより実際にお互いに話し合い、問題の整理とその解決に向けた取り組みを行う。なおここではおもに学校での教育や教材を想定して、その題材を設定する。	
	9	第九回 第八回と同じ形式で、具体的な問題をもとに、法的な思考をとらえることの意義を私たちの生活との関わりから考える。なお公的なことと私的なことの違いについての理解を深める工夫を合わせて行う。	
	10	第十回 小・中・高校のそれぞれの学校段階を想定して、「私たちと法」ということで重要と思われる題材や教材をお互いにつくり模擬授業を実施し、その評価を話し合い、その修正を行う。	
	11	第十一回 第十回と同じような活動や作業を実施し、「法」を現代において観念し共有する意義と問題点、限界などを話し合う。	
	12	第十二回 これまでの授業を整理するとともに、法的な事柄を超えて向き合い、物事を進めようとする人々の活動や考え方にも着目して、「私たちと法」の関係を多面的に考えることの大切さを理解する。	
	13	第十三回 法教育の在り方を学校教育ばかりでなく、生涯学習社会の教育の在り方としても考える視点を持ち、日常に生きる人々にとっての法的な見方や考え方の意義や可能性について、教材という形で成果を構想する。	
	14	第十四回 「私たちと法」という観点の持つ意味を、地域的に考え、社会の安心等に資する学び方の方向性を提案する。あわせて国際的にも考える必要性についても話し合い、その論点を整理する。	
	15	第十五回 ある具体的な紛争的な問題を設定し、対話・対審的に議論し、審議することから生まれる法的な見方や考え方の価値を検討する。	
	16	第十六回 具体的な課題に対して、レポートを提出し、文書として論点を整理、保存することの意義を学ぶ。	
	キーワード	法的な見方や考え方 法教育 リーガル・リテラシー	
	教科書・教材・参考書	教科書は用いない。適宜資料を印刷し、配布する。	
成績評価の方法・基準等	授業へ参加・貢献度(30%)、講義での小レポートの評価(20%)、レポート(50%)をもとに、総合的に評価する。		
受講要件(履修条件)			
本科目の位置づけ			
学習・教育目標			
備考(URL)			
備考(準備学習等)			



タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 自由選択科目**」
 シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	水5
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20130588005101	科目番号	05880051
授業科目名	●日本の思想文化		
編集担当教員	佐久間 正		
授業担当教員名(科目責任者)	佐久間 正		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	佐久間 正		
科目分類	自由選択科目		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	講義科目
教室	[教養A棟]A-42		
対象学生（クラス等）			
担当教員Eメールアドレス	sakuma@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	環境科学部4階407研究室		
担当教員TEL	095-819-2731		
担当教員オフィスアワー	授業終了後30分		
授業のねらい	日本の歴史に対する理解を踏まえ、日本の思想の内容と特徴について基本的知識を有するとともに、それらについて簡単な説明ができる。多文化社会における思想と文化のあり方について適切に理解できる。		
授業方法（学習指導法）	教科書は用いず、配布する授業内容のレジュメ資料に基づいて授業を進め、適宜討論の時間を設ける。また受講生は授業内容及び指定された文献を読み、意見を述べる事が義務づけられる。		
授業到達目標	日本の歴史に関する理解を踏まえ、日本の思想の内容と特徴について基本的な知識を有し簡単な説明ができる。多文化社会における思想と文化の基本的あり方について理解している。		
授業内容	回	内容	
	1	はじめに 言語、思想、文化	
	2	列島の自然と文化、中華帝国とその周縁	
	3	土着、外来、日本化	
	4	仏教（1） 伝来、古代仏教	
	5	仏教（2） 鎌倉仏教	
	6	仏教（3） 室町～徳川期	
	7	儒教（1） 伝来、古代～戦国期	
	8	儒教（2） 徳川儒教	
	9	儒教（3） 徳川儒教（続き）	

	10	神道 (1) 神道の形成
	11	神道 (2) 徳川期、国学
	12	キリスト教 伝来と禁教、南蛮学、蘭学、洋学
	13	近代日本の思想文化(1)
	14	近代日本の思想文化(2)
	15	おわりに 多文化社会の思想文化
	16	定期試験
キーワード	土着、外来、日本化、神道、儒教、仏教	
教科書・教材・参考書	教科書は特に用いず、授業内容のレジメ資料を配付する。参考文献は適宜紹介する。	
成績評価の方法・基準等	期末試験 (70%)、授業への参加 (30%)	
受講要件 (履修条件)		
本科目の位置づけ		
学習・教育目標		
備考 (URL)		
備考 (準備学習等)	高校の日本史及び倫理の教養・知識は身につけていることを前提とする。それらを受講しなかった者は少なくともそれらの教科書を読んでおくこと。	



タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 自由選択科目**」
 シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	水5						
開講期間									
必修選択	選択	単位数	2.0						
時間割コード	20130588005201	科目番号	05880052						
授業科目名	●ジェンダーと法								
編集担当教員	植木 とみ子								
授業担当教員名(科目責任者)	植木 とみ子								
授業担当教員名(オムニバス科目等)	植木 とみ子								
科目分類	自由選択科目								
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	講義科目						
教室	[教養A棟]A-21								
対象学生（クラス等）	全学生								
担当教員Eメールアドレス	tuterrace@fcv.ne.jp								
担当教員研究室	非常勤講師室								
担当教員TEL	092-521-6851								
担当教員オフィスアワー	上記または 090-4994-5830 にTELして、ご相談下さい								
授業のねらい	いまだ男女共同参画が実現していない現代日本社会にあって、ジェンダーバイアスとは何かを見る目を養い、バイアスにとらわれていることで、日本人がいかに精神的、経済的に貴重なものを逃しているかに気づいていただきます								
授業方法（学習指導法）	基本的には講義ですが、みなさんに自分で考えていただくために演習形式も取り入れて、できるだけ多く質問を投げかけ、一緒に考えて行きたいと思っています。みなさんには積極的に参画していただきたいと思います								
授業到達目標	<p>すぐにはものの見方、考え方が変わるとは思われませんが、少なくとも身の回りの事象を歴史的大局的に見る訓練をする事により、グローバルスタンダードを持ち、今の日本の閉塞状況を打ち壊すことができるような、自立した大人になるお手伝いをします</p> <p>「第一部 ジェンダーはどう形成されてきたか（1～5）」では、過去の男女のジェンダー役割とその変遷を振り返ります 「第二部 男女共同参画社会形成への道（6～8）」では、国際婦人年をきっかけにした女子差別撤廃から男女共同参画までの世界と日本の歩みを見ます 「第三部 いまだ残る問題点（9～14）」では、わが国においていまだ根深くある様々なジェンダーバイアスの実態を知り、そのことがいかに社会問題を引き起こしているかを検証します 「第四部 真の男女共同参画社会の実現に向けて（15）」では、ジェンダーバイアスにとられない、しなやかな生き方ができるための方策を探ります あらかじめ決まったテキストはありません。毎回プリントを配布しますし、関連した文献を紹介します</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>歴史に見る男女の姿（古代・未開社会と母系制、封建社会における男性優位主義）</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>明治から昭和初期の女性（天皇制家族国家体制下での男性と女性、作られた「良妻賢母主義」）</td> </tr> </tbody> </table>			回	内容	1	歴史に見る男女の姿（古代・未開社会と母系制、封建社会における男性優位主義）	2	明治から昭和初期の女性（天皇制家族国家体制下での男性と女性、作られた「良妻賢母主義」）
回	内容								
1	歴史に見る男女の姿（古代・未開社会と母系制、封建社会における男性優位主義）								
2	明治から昭和初期の女性（天皇制家族国家体制下での男性と女性、作られた「良妻賢母主義」）								

授業内容	3	戦後の解放（憲法、民法改正の中での女性の地位、女性の社会進出）
	4	高度成長期における男性と女性（マイホーム主義、男女の役割分担の拡大最生産）
	5	世界史での女性差別（ハムラビ法典から近代市民社会成立期まで）
	6	世界的な女性解放の潮流（国際婦人年をきっかけに、「女子差別撤廃条約」登場の背景）
	7	世界の現状（北欧先進諸国の女性たち、開発途上国の女性たち）
	8	日本の取組み（国の「婦人問題企画推進本部」設置から、「男女雇用機会均等法」制定の舞台裏、地域での取組み）
	9	ジェンダーと法制度（憲法における平等保障、皇室典範や民法にいまに残る男系主義）
	10	ジェンダーと政治（政治はだれのもの、日本の女性議員の割合は世界でも超低レベル）
	11	ジェンダーと雇用（女性の平均賃金は男性の半分、女性が働き続けられないワケ）
	12	ジェンダーと福祉・社会保障（女性たちはなぜ子どもを産まないか、主婦の年金は誰が払うの？）
	13	ジェンダーと家族（夫と妻の役割、いま子どもが育っていない！）
	14	ジェンダーと性（リプロダクティブ・ライツ、ドメスティック・バイオレンス、セクシュアル・ハラスメント）
	15	新たな生き方の提示（高齢社会は資源の宝庫、一度の人生を悔いなく生きる）
	16	定期試験
	キーワード	
	教科書・教材・参考書	プリント配布、そのつど参考文献を紹介する
成績評価の方法・基準等	授業での積極的発言、毎回の短い感想文、定期試験の成績を総合評価する	
受講要件（履修条件）		
本科目の位置づけ		
学習・教育目標		
備考（URL）		
備考（準備学習等）		



タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 自由選択科目**」
 シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	水5
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20130588005301	科目番号	05880053
授業科目名	●芸術と文化		
編集担当教員	堀内 伊吹		
授業担当教員名(科目責任者)	堀内 伊吹		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	堀内 伊吹, 米田 耕司, 市原 隆靖, 大堀 哲, 村嶋 寿深子		
科目分類	自由選択科目		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	講義科目
教室	[教養A棟]A-32		
対象学生（クラス等）	主対象、1年～4年		
担当教員Eメールアドレス	horiuchi@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	教育学部音楽棟2階206（改修工事の場合は変更します）		
担当教員TEL	095\819-2343		
担当教員オフィスアワー	水曜日 5時間目		
授業のねらい	長崎の芸術文化活動の実態を概観し、実際に文化施設に出かけ、芸術鑑賞を行う。		
授業方法（学習指導法）	視聴覚機器を活用して、またその分野のゲストをお迎えしての講義と文化施設に出かけての演習。		
授業到達目標	音楽文化を取り巻く状況が理解でき、実際の演奏会を鑑賞し、生の演奏に触れる喜びを感じ取ることができる。		
授業内容	回	内容	
	1	この授業の進め方、ガイダンス	
	2	「長崎の文化活動について	
	3	「長崎の歴史と文化」ゲストスピーカーを迎えて	
	4	文化ホールに出かけ、実際にコンサートを鑑賞しよう①	
	5	「マスメディアと文化」ゲストスピーカーを迎えて	
	6	「長崎の音楽文化活動」	
	7	文化施設に出かけてみよう	
	8	「美術と音楽、そして芸術」	
	9	長崎音楽祭に参加してみよう	
	10	「美術と音楽①」ゲストスピーカーをお迎えして	
	11	「美術と音楽②」ゲストスピーカーをお迎えして	
	12	「文化芸術と長崎」	

	13	クリスマスの音楽
	14	「長崎の音楽活動②」
	15	「長崎の音楽活動③」 ゲストスピーカーをお迎えして
	16	(予備)
キーワード	音楽文化、文化ホール、自主文化事業、音楽祭	
教科書・教材・参考書	その都度指示します	
成績評価の方法・基準等	推薦する文化施設訪問から2つを選択し、自分の意見を交えた芸術体験レポートを提出。レポートによる評価を行う。	
受講要件（履修条件）	心を静めて芸術鑑賞ができること	
本科目の位置づけ		
学習・教育目標	芸術的な感性のトレーニング、芸術を鑑賞するための基礎知識の習得	
備考（URL）		
備考（準備学習等）		



タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 自由選択科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	水5
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20130588005401	科目番号	05880054
授業科目名	●共生のグローバル人類学		
編集担当教員	増田 研		
授業担当教員名(科目責任者)	増田 研		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	増田 研		
科目分類	自由選択科目		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	講義科目
教室	[教養A棟]A-23		
対象学生（クラス等）			
担当教員Eメールアドレス	ken-m@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	環境401（増田研究室）		
担当教員TEL	095-819-2734		
担当教員オフィスアワー	随時（事前連絡が必要）		
授業のねらい	<p>グローバル化された世界における共生のあり方を、文化人類学という武器を使って探る。これがこの「共生のグローバル人類学」という講義の目的である。文化人類学は異文化ひいては文化的他者を理解する学問であり、なおかつ、人類文化の普遍性を明らかにする学問である。他方、私たちが生きる世界においては、共生の重要性を誰もが認めつつも、それと真っ向から対立する出来事が充ち満ちている。必要なことは「過去に学び、現在を理解し、未来を構想する」、そのための身のこなしを習得することであり、そのこと自体の重要性を理解することであろう。またグローバル化された世界を構想する力を養うことは、自らのポジションを見定めることでもある。</p>		
授業方法（学習指導法）	原則として講義科目であるが、場合によってワークショップ形式を取り入れることもある。（実際の授業運営は受講人数によって調整される。）		
授業到達目標	<p>(1)現代世界が抱える問題について、歴史的背景を把握しながら理解し、説明できる。 (2)社会的事象に対する文化人類学アプローチの特色を理解し、説明できる。 (3)現在進行している「共生」への模索と、その解決の道筋を構想し、主張することが出来る。</p>		
	回	内容	
	1	現代社会の多様な問題と「共生」（増田） ★現代社会の問題を意識し、「共生」へと関心を開くこと	
	2	世界はボーダーレスの球面である（増田） ★世界の「つながり」を認識し、自らが生きる「狭い世界」の脈絡とつなげる。	
	3	帝国主義と植民地、世界システム（増田） ★異文化交流の問題を、世界史的視野において理解する。	
	4	文化人類学のアプローチ（増田） ★文化人類学の出現から現在までのアプローチの変遷を理解する。	

授業内容	5	エスノグラフィーを書く：紛争と健康と教育（増田） ★増田によるエチオピアでのフィールドワーク実践例を通して、現代的課題に対する取り組みの事例を知る。	
	6	アフリカにおける紛争の研究：導入（波佐間・増田） ★アフリカにおける紛争の概要と、その理解のパラダイムを知る。	
	7	敵対と友好を揺れ動く民族間関係（波佐間・増田） ★北東ウガンダの牧畜民社会の紛争の事例から民族間関係の動態を理解する。	
	8	マスメディアがむける東アフリカの民族紛争へのまなざし（波佐間・増田） ★マスメディアが広めるアフリカへのステレオタイプを批判する。	
	9	東アフリカ牧畜社会での平和構築と外部介入（波佐間・増田） ★ケニア・カクマ難民キャンプの事例をもとに、平和構築のあり方を理解する。	
	10	社会開発（Development）とは何か？（増田） ★共生的関与のあり方のひとつである「社会開発」の概要と、その歴史的経緯を理解する。	
	11	第二次世界大戦中、戦後の人類学の歴史的背景（佐藤・増田） ★人類学の発展の背景の具体例および、戦中の人類学の目的と戦後のそれに対する批判を理解する。	
	12	世界銀行の中での人類学、人類学者（佐藤・増田） ★世界銀行の開発政策の変遷と中での人類学者の役割を理解し、世界銀行の人類学者らが提唱する国際開発のキーワードとその概念を説明できるようにする。	
	13	開発と人類学：事例紹介(1)（佐藤・増田） ★人類学的アプローチを開発プロジェクトに応用した事例を通して、その特長、特色を理解する。	
	14	開発と人類学：事例紹介(2)およびまとめ（佐藤・増田） ★人類学的アプローチを保健プロジェクトに応用した事例を通して、その特長、特色を理解する。	
	15	全体の総括（増田） ★講義全体の総括を行う。	
	16		
	キーワード	文化人類学、多文化共生、紛争、開発、異文化理解	
	教科書・教材・参考書	教科書はとくに指定しないが、以下のものを参考書として挙げておく。（その他の推薦資料については講義中に適宜紹介する。） 奥野克巳・花淵馨也（編）『文化人類学のレッスン』（学陽書房）、2005年 佐藤 寛、藤掛 洋子編著『開発援助と人類学－冷戦・蜜月・パートナーシップ－』明石書店2011年	
	成績評価の方法・基準等	毎回のレスポンスペーパー（40%）および試験（60%）によって評価する。	
	受講要件（履修条件）	受講生は以下の点を努力して欲しい。 (1)可能な限り全ての回に出席すること（すべての講義が一続きになるようにシラバスを設計しており、欠席すると理解が追いつかないかもしれない。） (2)社会情勢とりわけ世界の出来事をよく知っていることが望ましい。日常生活において新聞を読むことを習慣とすること（インターネット上の「ネット記事」ではダメである。）	
本科目の位置づけ			
学習・教育目標			
備考（URL）			
備考（準備学習等）			





タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 自由選択科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	水5
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20130588005501	科目番号	05880055
授業科目名	●社会学		
編集担当教員	南 誠		
授業担当教員名(科目責任者)	南 誠		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	南 誠		
科目分類	自由選択科目		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	講義科目
教室	[教養A棟]A-43		
対象学生（クラス等）			
担当教員Eメールアドレス			
担当教員研究室			
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー			
授業のねらい	社会学の基礎知識と社会を捉えるための方法を習得することにある。		
授業方法（学習指導法）	基本的には、パワーポイントを用いた講義形式による。		
授業到達目標	社会学の考え方と方法の習得をとおして、現代社会を理解・研究するための力を身につけることができる。		
授業内容	回	内容	
	1	イントロダクション	
	2	社会学の視点	
	3	親密空間と公共空間	
	4	空間と対人関係	
	5	自己と相互行為	
	6	家族とライフコース	
	7	組織と職業	
	8	メディアとコミュニケーション	
	9	歴史と記憶	
	10	国家とグローバリゼーション	
	11	エスニシティと境界	
	12	社会的包摂と排除	
	13	映像資料で社会学	
14	グループ議論		

	15	まとめ
	16	定期試験
キーワード		
教科書・教材・参考書	教科書はとくに指定しない。授業のなかで適宜に課題文献を紹介する。	
成績評価の方法・基準等	定期試験(80%)、授業および討論への参加度(20%)	
受講要件（履修条件）		
本科目の位置づけ		
学習・教育目標		
備考（URL）		
備考（準備学習等）		



タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 自由選択科目**」
 シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	水5
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20130588005601	科目番号	05880056
授業科目名	●日本の言語と文化		
編集担当教員	池田 幸恵		
授業担当教員名(科目責任者)	池田 幸恵		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	池田 幸恵		
科目分類	自由選択科目		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	講義科目
教室	[教養A棟]A-22		
対象学生（クラス等）			
担当教員Eメールアドレス	yu-ikeda@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	環405		
担当教員TEL	819-2738		
担当教員オフィスアワー	火曜日14:30-16:00		
授業のねらい	現代日本語に興味を持ち、日本語に関する理解を深める。		
授業方法（学習指導法）	毎回、講義終了後に確認テストを行う。		
授業到達目標	敬語が正しく使える。敬語の誤用を訂正できる。正しい日本語表記ができる。		
授業内容	現代日本語に関する諸問題について、敬語・方言・表記などのテーマごとに講義する。 第16回 定期試験		
	回	内容	
	1	オリエンテーション	
	2	敬語に関する世論調査（1）	
	3	敬語に関する世論調査（2）	
	4	敬語の正用・誤用	
	5	手紙を書く	
	6	方言（1）方言の歴史	
	7	方言（2）方言と共通語	
	8	方言（3）方言の研究	
	9	方言（4）長崎県の方言	
	10	方言（5）方言地図をよむ	
	11	日本語表記の諸問題（1）現代仮名遣	
	12	日本語表記の諸問題（2）漢字政策	
13	現代語の諸問題（1）若者言葉		

	14	現代語の諸問題 (2) 外来語
	15	現代語の諸問題 (3) 日本人の名前
	16	テスト
キーワード	日本語 方言 敬語 表記	
教科書・教材・参考書	プリントを配布する。	
成績評価の方法・基準等	確認テスト50%、定期試験50%	
受講要件 (履修条件)		
本科目の位置づけ		
学習・教育目標		
備考 (URL)		
備考 (準備学習等)		



タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 自由選択科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	水5
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20130588010001	科目番号	05880100
授業科目名	●平成長崎塾		
編集担当教員	高橋 正克		
授業担当教員名(科目責任者)	高橋 正克		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	高橋 正克		
科目分類	自由選択科目		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	講義科目
教室	[教養A棟]A-33		
対象学生（クラス等）	全学部		
担当教員Eメールアドレス	takahasi@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	教育学部新館 2F（高橋研究室）		
担当教員TEL	095-819-2090（Ext 2090）		
担当教員オフィスアワー	水曜日12：00～13：00、この時間以外は、事前にメール、電話等でアポイントをとってください。		
授業のねらい	<p>笈を負うて長崎に游学する...長崎は昔から町全体が大学だった...ともいわれています。ならば長崎に游学した勝海舟、坂本龍馬、高杉晋作、福澤諭吉は長大OBといって自慢していい。こんな由緒ある長崎大学あるいは長崎の歴史は？文化は？文学は？大地の生い立ちは？...この講義では、そのルーツから現在までの長崎大学の歴史と、そしてこの長崎大学を育み、かつ大学とともに歩んできた長崎の街や大地を多面的な切り口から知ることによって、長崎大学で学び、長崎の街で学生生活を送る諸君が、本学や長崎を誇りに思い（愛校精神）、将来、地域活性や社会貢献の意欲を持ってもらいます。また、多面的なものの見方、考え方があることを知り、長崎のより深い知識、理解を発展させる学習意欲を身につけてもらうこともねらいとします。</p>		
授業方法（学習指導法）	基本的に講義形式で行うが、できるだけ口頭による質疑応答を取り入れ理解度を探りながら進めます。必要に応じて、ハンドアウトを配布します。また、パワーポイントなども利用して理解を進めます。		
授業到達目標	長崎大学や長崎の歴史、文化、文学の概要が説明できるようになることです。多面的なものの見方、考え方があることを理解することです。歴史、文化、文学の長崎独自性について意見を展開できることを目指します。長崎のより深い知識、理解を発展させる学習意欲を身に付けることです。		
	長崎大学や長崎の歴史、文化、外交、文学、生い立ちなどについて、それぞれ専門の担当教員・講師が、ユニーク、かつ多面的な切り口で講義します。		
	回	内容	
	1	科目の趣旨説明、講義概要、講義の進め方、長崎大学の現況（高橋）	
	2	1) フォン・シーボルトと鳴滝塾（相川）	
	3	2) 海軍伝習と日本の近代化（相川）	
	4	3) ボンペ・ファン・メールデルフォールトの医学伝習（相川）	

授業内容	5	1) シーボルトの商業学校設立案と江戸時代の長崎（姫野）	
	6	2) 長崎における近代的学校の成立（姫野）	
	7	3) 長崎高等商業学校の設立と武藤長蔵（姫野）	
	8	4) 原爆被災と長崎大学（姫野）	
	9	1) 長崎の大地の生い立ち（布袋）	
	10	2) 江戸時代の長崎の町の復元（布袋）	
	11	3) 水族館のビオトープづくりとよみがえる里山（布袋）	
	12	4) 長崎の町から変遷の痕跡を読み解く—幕末から戦後まで—（布袋）	
	13	1) 長崎の歴史を築いた人々（高橋）	
	14	2) 長崎の歴史散策紹介（高橋）	
	15	3) 長崎検定・長崎通への誘い、まとめ（高橋）	
	16		
	キーワード	長崎大学 長崎 長崎学 シーボルト ポンペ 歴史 文化 文学 外交 大地の生い立ち 江戸時代 復元	
	教科書・教材・参考書	教科書は用いない。適宜、ハンドアウトを配布します。	
	成績評価の方法・基準等	毎回の積極的な授業への出席を前提に、提出するレポートで評価します（100%）。	
	受講要件（履修条件）	原則として全回出席し、レポートを提出することを単位認定の要件とします。	
本科目の位置づけ	本科目を履修し、長崎学に対するより深い興味を持ち、自学・自習を基盤とするアクティブラーニングへの習慣性を身に付けます。長崎検定などに合格することも、自主的学習態度の継続に効果的といえます。		
学習・教育目標	長崎大学や長崎の歴史、文化など多面的に知り、長崎大学生であることを誇りに思い、長崎の街に興味を持って学びに潤いのある学生生活を送ることです。		
備考（URL）			
備考（準備学習等）			



タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 自由選択科目**」
 シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	水5
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20130588010101	科目番号	05880101
授業科目名	●男女共同参画のすすめ		
編集担当教員	大井 久美子		
授業担当教員名(科目責任者)	大井 久美子		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	大井 久美子		
科目分類	自由選択科目、総合科学科目		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	講義科目
教室	[教養A棟]A-24		
対象学生（クラス等）	特に制限なし		
担当教員Eメールアドレス	knockout@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	男女共同参画推進センター		
担当教員TEL	095-819-2179		
担当教員オフィスアワー	15～17時		
授業のねらい	自分が意義や価値を見いだす課題を見つける。 異なった文化や価値観に関心をもつ。		
授業方法（学習指導法）	グループ討論等		
授業到達目標	生命にとっての多様性の意義を見いだす。		
授業内容	回	内容	
	1	男女共同参画社会とワークライフバランス	
	2	日本と世界の子育て	
	3	子育てと夫婦関係	
	4	子ども達のライフハザード	
	5	親子のコミュニケーション形成	
	6	育児に困惑する母親達の存在	
	7	育児支援施策	
	8	乳幼児の心身の発育・発達	
	9	思春期の心身の発育・発達	
	10	仕事に対する多様な選択	
	11	女性のキャリア形成	
	12	世界における女性研究者の位置	
	13	男女共同参画推進の壁	
14	男女共同参画を推進する力		

	15 職場の働きやすい環境とは
	16 試験
キーワード	男女共同参画、ライフワークバランス、多様性、
教科書・教材・参考書	未定
成績評価の方法・基準等	レポート（50%）、テスト（50%）
受講要件（履修条件）	特になし
本科目の位置づけ	男女共同参画社会実現のための推進力となる
学習・教育目標	自分が意義や価値を見いだす課題を見つける。
備考（URL）	
備考（準備学習等）	



タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 自由選択科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	水5
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20130588010201	科目番号	05880102
授業科目名	●疑似科学とのつき合い方		
編集担当教員	武藤 浩二		
授業担当教員名(科目責任者)	武藤 浩二		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	武藤 浩二, 安部 俊二, 長島 雅裕, 小西 祐馬, 上菌 恒太郎		
科目分類	自由選択科目		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	講義科目
教室	[教養G棟]G-38		
対象学生（クラス等）	全学部		
担当教員Eメールアドレス	cosy @nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	教育学部 美術・技術棟108号室		
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー			
授業のねらい	現代社会に蔓延する各種の疑似科学について学び、それらがなぜ疑似科学と呼ばれるのかを理解することによって、科学的なものの見方を獲得する。 さらに科学の「限界」を把握し、科学と価値の関係の理解を通じて、自律的に生きるための基礎力を養う。		
授業方法（学習指導法）	黑板への番書やスライド、ビデオを用いた講義と、担当教員と受講生による討論を行う。 講義資料や課題用紙はWebClassや教員のWEBページを通じて配布する。		
授業到達目標	科学的なものの見方を獲得する。疑似科学かどうかを判断するための方策を考えることができるようになる。科学と価値の関係について考察できるようになる。		
授業内容	講義内容は多岐にわたるので、以下のように各教員がテーマに基づいて講義を行う。 なお、教員の出張等の都合で実施回を変更する場合がある。		
	回	内容	
	1	全教員「開講のあいさつ：現代教育に欠けたもの」	
	2	長島雅裕「血液型と性格」	
	3	武藤浩二「マイナスイオンと健康」	
	4	長島雅裕「超能力・UFOと陰謀論」	
	5	武藤浩二「水からの伝言と学校教育」	
	6	武藤浩二「微生物と放射線の疑似科学」	
	7	長島雅裕「代替医療」	
	8	全体討論会第1部：第1～7回の講義について全教員・学生で討論する	
	9	小西祐馬「社会調査のリテラシー：統計データとの正しい接し方」	
10	小西祐馬「乳幼児の教育について：早期教育の問題点」		

	11 安部俊二「蔓延する学位商法（ディプロマ・ミル）」
	12 安部俊二「裁判と〈科学〉：血液型とDNA鑑定」
	13 上菌恒太郎「〈科学的思考〉とはなにか」
	14 上菌恒太郎「〈自立〉し、〈考える〉人間になるために」
	15 全体討論会第2部：第9～14回の講義について全教員・学生で討論する。
	16
キーワード	科学, 疑似科学, 前科学, 宗教の歴史, 認識論, 感性, 法医学, 大学偽装
教科書・教材・参考書	資料：長崎大学教育学部「疑似科学とのつきあいかた」研究会編『疑似科学とのつきあいかた：教師を目指す皆さんへ』 参考書：大村政男『新訂 血液型と性格』（福村出版），左巻健男『水は何にも知らないよ』（ディスカバートゥエンティワン），安斉育郎『科学と非科学との間』（かもがわ出版），伊勢田哲治『疑似科学と科学の哲学』（名古屋大学出版会），池内了『疑似科学入門』（岩波新書），菊池誠・松永和紀・伊勢田哲治・平川秀幸『もうだまされないための「科学」講義』（光文社新書），木原善彦『UFOとポストモダン』（平凡社新書），菊池聡・谷口高士・宮元博章編『不思議現象 なぜ信じるのか』（北大路書房），庄司和晃『科学的思考とは何か』『科学ばかり主義の克服：未来の教育学のための人間研究』『人はなぜオカルトに魅かれるのか』（明治図書），南郷継正『弁証法・認識論への道』（三一書房），等
成績評価の方法・基準等	講義テーマへの積極的な取り組みを重視する立場から，最終課題レポート（5割），討論を含む講義への貢献度および各教員が課す「小レポート」の成績（5割）で総合的に評価する。
受講要件（履修条件）	
本科目の位置づけ	
学習・教育目標	
備考（URL）	http://tech.edu.nagasaki-u.ac.jp/muto/
備考（準備学習等）	



タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 自由選択科目**」
 シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	水5
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20130588015001	科目番号	05880150
授業科目名	●基礎物理		
編集担当教員	田川 直行		
授業担当教員名(科目責任者)	田川 直行		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	田川 直行		
科目分類	自由選択科目		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	講義科目
教室	[教養A棟]A-13		
対象学生（クラス等）	一年次		
担当教員Eメールアドレス	n-tagawa@octp-net.ne.jp		
担当教員研究室	非常勤講師控室		
担当教員TEL	090-7927-1774		
担当教員オフィスアワー	Eメールにより質問を受け付けます。n-tagawa-@octp-net.ne.jp		
授業のねらい	物体の運動と様々なエネルギーへの関心を高め、物理学の基本的な概念・法則を理解し、科学的な見方や考え方を身に付ける。		
授業方法（学習指導法）	講義及び演習		
授業到達目標	物理Ⅰの力学分野を学び、ニュートンの運動の法則と力学的エネルギー保存の法則により、様々な物体の運動について予測できるようにする。		
授業内容	回	内容	
	1	等速度運動 速さと単位 速さと速度 平均の速さ	
	2	速度の合成 相対速度	
	3	加速度 等加速度直線運動	
	4	等加速度直線運動	
	5	様々な力 力の合成 力の分解	
	6	1点に働く力のつり合い	
	7	摩擦力 抵抗力	
	8	力のモーメント	
	9	ニュートンの運動の法則 力の単位	
	10	運動方程式	
	11	重力による運動 自由落下 鉛直投げ上げ	
	12	重力による運動 水平投射 斜方投射	
	13	運動エネルギーと位置エネルギー	

	14	仕事 仕事の原理 仕事率
	15	力学的エネルギー保存の法則
	16	定期試験
キーワード		
教科書・教材・参考書	物理Ⅰ研究ノート2012 編集 九州高等学校理科教育研究会 発行 (株) 博洋社	
成績評価の方法・基準等	定期試験 60% 小テスト 30% (毎時間15回実施) 授業に取り組む態度 10%	
受講要件 (履修条件)		
本科目の位置づけ		
学習・教育目標		
備考 (URL)		
備考 (準備学習等)		





タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 自由選択科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	水6
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20130588015002	科目番号	05880150
授業科目名	●基礎物理		
編集担当教員	田川 直行		
授業担当教員名(科目責任者)	田川 直行		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	田川 直行		
科目分類	自由選択科目		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	講義科目
教室	[教養A棟]A-13		
対象学生（クラス等）	1年次		
担当教員Eメールアドレス	n-tagawa@octp-net.ne.jp		
担当教員研究室	非常勤講師控室		
担当教員TEL	090-7927-1774		
担当教員オフィスアワー	Eメールにより質問を受け付けます。n-tagawa@octp-net.ne.jp		
授業のねらい	物体の運動と様々なエネルギーへの関心を高め、物理学の基本的な概念・法則を理解し、科学的な見方や考え方を身に付ける。		
授業方法（学習指導法）	講義及び演習		
授業到達目標	物理Ⅰの力学分野を学び、ニュートンの運動の法則と力学的エネルギー保存の法則により、様々な物体の運動について予測できるようにする。		
授業内容	回	内容	
	1	等速度運動 速さと単位 速さと速度 平均の速さ	
	2	速度の合成 相対速度	
	3	加速度 等加速度直線運動	
	4	等加速度直線運動	
	5	様々な力 力の合成 力の分解	
	6	1点に働く力のつり合い	
	7	摩擦力 抵抗力	
	8	力のモーメント	
	9	ニュートンの運動の法則 力の単位	
	10	運動方程式	
11	重力による運動 自由落下 鉛直投げ上げ		

	12	重力による運動 水平投射 斜方投射
	13	運動エネルギーと位置エネルギー
	14	仕事 仕事の原理 仕事率
	15	力学的エネルギー保存の法則
	16	定期試験
キーワード		
教科書・教材・参考書		物理Ⅰ研究ノート 2012 編集 九州高等学校理科教育研究会 発行 (株) 博洋社
成績評価の方法・基準等		定期試験 60% 小テスト 30% (毎時間15回実施) 授業に取り組む態度 10%
受講要件 (履修条件)		
本科目の位置づけ		
学習・教育目標		
備考 (URL)		
備考 (準備学習等)		



タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 自由選択科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	水5
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20130588015003	科目番号	05880150
授業科目名	●基礎物理		
編集担当教員	田川 直行		
授業担当教員名(科目責任者)	田川 直行		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	田川 直行		
科目分類	自由選択科目		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	講義科目
教室	[教養A棟]A-22		
対象学生（クラス等）	1年次		
担当教員Eメールアドレス	n-tagawa@octp-net.ne.jp		
担当教員研究室	非常勤講師控室		
担当教員TEL	090-7927-1774		
担当教員オフィスアワー	Eメールにて質問を受け付けます。n-tagawa@octp-net.ne.jp		
授業のねらい	物体の運動と様々なエネルギーへの関心を高め、物理学の基本的な概念・法則を理解し、科学的な見方や考え方を身に付ける。		
授業方法（学習指導法）	講義及び演習		
授業到達目標	物理Ⅰの力学分野を学び、ニュートンの運動の法則と力学的エネルギー保存の法則により、様々な物体の運動について予測できるようにする。		
授業内容	回	内容	
	1	等速度運動 速さと単位 速さと速度 平均の速さ	
	2	速度の合成 相対速度	
	3	加速度 等加速度直線運動	
	4	等加速度直線運動	
	5	様々な力 力の合成 力の分解	
	6	1点に働く力のつり合い	
	7	摩擦力 抵抗力	
	8	力のモーメント	
	9	ニュートンの運動の法則 力の単位	
	10	運動方程式	
	11	重力による運動 自由落下 鉛直投げ上げ	
	12	重力による運動 水平投射 斜方投射	
	13	運動エネルギーと位置エネルギー	

	14	仕事 仕事の原理 仕事率
	15	力学的エネルギー保存の法則
	16	定期試験
キーワード		
教科書・教材・参考書	物理Ⅰ研究ノート 2012 編集 九州高等学校理科教育研究会 発行 (株) 博洋社	
成績評価の方法・基準等	定期試験 60% 小テスト 30% (毎時間15回実施) 授業に取り組む態度 10%	
受講要件 (履修条件)		
本科目の位置づけ		
学習・教育目標		
備考 (URL)		
備考 (準備学習等)		



タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 自由選択科目**」
 シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	水5
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20130588015101	科目番号	05880151
授業科目名	●基礎化学		
編集担当教員	筒井 保之		
授業担当教員名(科目責任者)	筒井 保之		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	筒井 保之		
科目分類	自由選択科目		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	講義科目
教室	[教養A棟]A-14		
対象学生（クラス等）	全学生		
担当教員Eメールアドレス	yasuyasu851@mx.b.cncm.ne.jp		
担当教員研究室	非常勤講師室		
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	非常勤講師室にて水曜日 15:30以降・要確認		
授業のねらい	高等学校で「化学Ⅰ」を履修していない学生を対象に、高等学校「化学Ⅰ」の範囲の基礎的・基本的内容を学習します。		
授業方法（学習指導法）	授業形式で行いますが、一部演習の時間を入れる予定です。指定したテキスト等をもとに、受講者自ら基礎的・基本的内容を学習するとともに、発展的な学習にも努めてもらいます。		
授業到達目標	高等学校「化学Ⅰ」で履修する範囲の基礎的・基本的な学習内容について理解し、学習内容を関連の分野で活用できるようになる。		
	高等学校「化学基礎」をテキストとして使用し、その基礎的・基本的事項に関して解説を中心に授業を進めます。演習問題で学習内容の確認・定着が特に必要な内容について一部演習の時間を設定します。また、小テストの実施と課題を出しその提出を求めることがあります。ただし、時間的な制約もあるため、受講者自らでテキストを予習・復習し、学習内容の定着と学習に関連した問題演習に努めてください。		
	回	内容	
	1	オリエンテーション 1 物質の構成	
	2	2 物質の構成粒子 原子とその構造、イオン、周期表	
	3	3 粒子の結合 (1)イオン結合とイオンからなる物質、(2)共有結合と分子	
	4	(3)分子の極性と分子間力、(4)共有結合の物質、(5)金属結合と金属	
	5	4 物質と化学反応式 (1)原子量、分子量、式量	
		(2)物質	

授業内容	6	(3)化学反応式と物質量
	7	(4)演習
	8	5 酸と塩基の反応 (1)酸・塩基
	9	(2)水の電離と水溶液のpH
	10	(3)中和反応 (4)塩
	11	(5)演習 6 酸化還元反応 (1)酸化と還元
	12	(2)酸化剤と還元剤
	13	(3)金属の酸化還元反応
	14	(4)酸化還元反応の利用
	15	(5)補充と演習
	16	定期試験
	キーワード	
教科書・教材・参考書	数研出版「化学基礎」 (大学生協で販売しています)	
成績評価の方法・基準等	成績評価は、定期試験60%、授業中に実施する小テストおよび提出課題の評価40%で行います。	
受講要件(履修条件)	全回出席が原則。教科書も必ず購入すること。	
本科目の位置づけ		
学習・教育目標		
備考(URL)		
備考(準備学習等)		



タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 自由選択科目**」
 シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	水5
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20130588015102	科目番号	05880151
授業科目名	●基礎化学		
編集担当教員	筒井 保之		
授業担当教員名(科目責任者)	筒井 保之		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	筒井 保之		
科目分類	自由選択科目		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	講義科目
教室	[教養A棟]A-14		
対象学生（クラス等）	全学生		
担当教員Eメールアドレス	yasuyasu851@mx.b.cncm.ne.jp		
担当教員研究室	非常勤講師室		
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	非常勤講師室にて水曜日 15:30以降・要確認		
授業のねらい	高等学校で「化学Ⅰ」を履修していない学生を対象に、高等学校「化学Ⅰ」の範囲の基礎的・基本的内容を学習します。		
授業方法（学習指導法）	授業形式で行いますが、一部演習の時間を入れる予定です。指定したテキスト等をもとに、受講者自ら基礎的・基本的内容を学習するとともに、発展的な学習にも努めてもらいます。		
授業到達目標	高等学校「化学Ⅰ」で履修する範囲の基礎的・基本的な学習内容について理解し、学習内容を関連の分野で活用できるようになる。		
	高等学校「化学基礎」をテキストとして使用し、その基礎的・基本的事項に関して解説を中心に授業を進めます。演習問題で学習内容の確認・定着が特に必要な内容について一部演習の時間を設定します。また、小テストの実施と課題を出しその提出を求めることがあります。ただし、時間的な制約もあるため、受講者自らでテキストを予習・復習し、学習内容の定着と学習に関連した問題演習に努めてください。		
	回	内容	
	1	オリエンテーション 1 物質の構成	
	2	2 物質の構成粒子 原子とその構造、イオン、周期表	
	3	3 粒子の結合 (1)イオン結合とイオンからなる物質、(2)共有結合と分子	
	4	(3)分子の極性と分子間力、(4)共有結合の物質、(5)金属結合と金属	
	5	4 物質と化学反応式 (1)原子量、分子量、式量	
		(2)物質	

授業内容	6	(3)化学反応式と物質量
	7	(4)演習
	8	5 酸と塩基の反応 (1)酸・塩基
	9	(2)水の電離と水溶液のpH
	10	(3)中和反応 (4)塩
	11	(5)演習 6 酸化還元反応 (1)酸化と還元
	12	(2)酸化剤と還元剤
	13	(3)金属の酸化還元反応
	14	(4)酸化還元反応の利用
	15	(5)補充と演習
	16	定期試験
	キーワード	
教科書・教材・参考書	数研出版「化学基礎」 (大学生協で販売しています)	
成績評価の方法・基準等	成績評価は、定期試験60%、授業中に実施する小テストおよび提出課題の評価40%で行います。	
受講要件(履修条件)	全回出席が原則。教科書も必ず購入すること。	
本科目の位置づけ		
学習・教育目標		
備考(URL)		
備考(準備学習等)		



タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 自由選択科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	水5
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20130588015201	科目番号	05880152
授業科目名	●基礎生物		
編集担当教員	平倉 充		
授業担当教員名(科目責任者)	平倉 充		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	平倉 充		
科目分類	自由選択科目		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	講義科目
教室	[教養A棟]A-41		
対象学生（クラス等）	全学生		
担当教員Eメールアドレス	hirakura@nibc.nibc.ac.jp		
担当教員研究室	非常勤講師室		
担当教員TEL	携帯電話 090-1924-6222		
担当教員オフィスアワー			
授業のねらい	高校教科書「生物Ⅰ」（第一学習社）を使って、細胞、生殖と発生、遺伝、環境と動物の反応、環境と植物の反応の全般を学習します。生物分野の高校を卒業した一般人として、常識的に身につけてほしい知識を学びます。		
授業方法（学習指導法）	教科書の内容を、単元ごとに15時間に分け、サブノートを準備しますので、空白を書き込み、埋めるようにして、授業を進めます。各時間の最後に10分間の小テストを行い確認します。15回分を合計して、50点に換算し、それを平常点とします。定期として50点分のテストを実施、合わせて100点で評価します。		
授業到達目標	教科書の平易な内容を常識的な知識として体得し、新聞・テレビで取り上げられることを理解し、事象について判断、考えが持てるようになる。教科書にそった簡単な内容の質問に、80%以上は解答できるようになる。		
	授業内容：教科書の内容を15時間にわけ、単元ごとにまとめたテーマで学習していきます。教科書は高等学校「改訂生物Ⅰ」（第一学習社）を使います。各時間の終わりの10分間に、その前の時間の講義内容を確認する小テストを実施します。この小テストの点数の合計が、平常点となり、100点満点の50%になります。最後の時間に定期考査を実施しますが、事前に問う分野、事項を大まかに予告しますので、落ち着いて講義に臨んでください。		
	回	内容	
	1	①生命とは何か。（生物と無生物の違い。） ②細胞の発見（細胞研究の歴史 ③生命の最小単位である細胞内の細胞小器官の構造と働き ④細胞分画法（小器官の成分や働きの解明方法）	
	2	⑤細胞をつくっている原形質の組成 ⑥生体内の化学反応と酵素の働き ⑦酵素の基質特異性（各酵素の働く物質が異なっていること。）	

授業内容	3	⑧細胞膜の働き（浸透、および浸透圧。選択的透過性とそのしくみである能動輸送。） ⑨成長や増殖の手段となる体細胞分裂の過程 ⑩細胞の分化と組織化（細胞が形態や機能が特殊化して組織を作っていくしくみ。）
	4	生殖と発生①子孫を増やしていく生殖の方法 ②体が分裂して増殖する無性生殖。③雄雌がつくる配偶子の合体による増殖方法。④配偶子をつくる過程の減数分裂 ⑤精子や卵の形成
	5	⑥卵割の様式（受精卵の初期の細胞分裂の過程）⑦発生学の基本（ウニとカエルの発生過程）⑧カエルの卵割により、各箇所・各細胞が特殊化していくしくみ ⑨形成体の働き（分化を誘導していく部分）
	6	遺伝①遺伝学の出発・遺伝の法則 ②メンデルの功績と三大法則 ③メンデルの法則に当てはまらないいろいろな遺伝現象
	7	④遺伝子と染色体（遺伝子はどこに存在するか） ⑤連鎖と組み替え（染色体上の遺伝子の行動）⑥染色体地図（特定の遺伝子がどのように染色体上に存在するか。） ⑦雌雄を決定する性染色体に遺伝子が存在した場合の遺伝様式
	8	⑧遺伝子の本体の究明（肺炎双球菌による形質転換、バクテリオファージの増殖方法） ⑨DNAの構造と複製方法、遺伝情報とは、どのようにして発現させるのか。
	9	動物の反応①刺激の受容と感覚について ②目の構造（網膜の視細胞、光量の調節、遠近の調節） ③耳の構造（聞こえるしくみ、平衡感覚、化学物質の受容など）
	10	④神経単位であるニューロンの構造と機能 ⑤興奮がどのように神経線維を伝っていくか、どのようにして次のニューロンに伝達するか。
	11	⑥神経系（種類、脳や脊髄の中樞神経系と末梢神経系）の構造とその働き ②動物の反応と行動（筋収縮のしくみ）
	12	⑧恒常性と体液 ⑨血液の組成と働き ⑩動物ホルモンの働き。⑪自律神経系の働き
	13	⑫水分や浸透圧を調節する。 ⑬血糖値を一定に保つしくみ ⑭体温を一定に保つしくみ
	14	⑮腎臓の働き ⑯肝臓のはたらき 植物の反応 ①植物の水分の吸収と移動 ②光合成と呼吸 ③植物の反応と調節 ④ホルモンによる成長の調節。
	15	⑤いろいろな植物ホルモン（果実の成熟、細胞分裂、気孔の開閉、落葉、落果など）⑥花芽の形成の調節。⑦種子の発芽の調節。
	16	定期試験を50分間実施する。出題は6問、分野・内容・傾向は15回目の授業の後半に概要を連絡する。
	キーワード	毎時間の積み重ね
	教科書・教材・参考書	教科書「高等学校 改訂生物Ⅰ」（第一学習社）、毎時間サブノート形式のプリントを準備する。
成績評価の方法・基準等	小テスト15回分をまとめて50点分、定期考査を50点分として、合わせて100点で評価する。	
受講要件（履修条件）	全回出席が原則。教科書を必ず購入すること。	
本科目の位置づけ		
学習・教育目標		
備考（URL）		
備考（準備学習等）		



タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 自由選択科目**」
 シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	水5
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20130588015203	科目番号	05880152
授業科目名	●基礎生物		
編集担当教員	平倉 充		
授業担当教員名(科目責任者)	平倉 充		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	平倉 充		
科目分類	自由選択科目		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	講義科目
教室	[教養A棟]A-31		
対象学生（クラス等）	全学生		
担当教員Eメールアドレス	hirakura@nibc.nibc.ac.jp		
担当教員研究室	非常勤講師室		
担当教員TEL	携帯電話 090-1924-6222		
担当教員オフィスアワー			
授業のねらい	高校教科書「生物Ⅰ」（第一学習社）を使って、細胞、生殖と発生、遺伝、環境と動物の反応、環境と植物の反応の全般を学習します。生物分野の高校を卒業した一般人として、常識的に身につけてほしい知識を学びます。		
授業方法（学習指導法）	教科書の内容を、単元ごとに15時間に分け、サブノートを準備しますので、空白を書き込み、埋めるようにして、授業を進めます。各時間の最後に10分間の小テストを行い確認します。15回分を合計して、50点に換算し、それを平常点とします。定期として50点分のテストを実施、合わせて100点で評価します。		
授業到達目標	教科書の平易な内容を常識的な知識として体得し、新聞・テレビで取り上げられることを理解し、事象について判断、考えが持てるようになる。教科書にそった簡単な内容の質問に、80%以上は解答できるようになる。		
	授業内容：教科書の内容を15時間にわけ、単元ごとにまとめたテーマで学習していきます。教科書は高等学校「改訂生物Ⅰ」（第一学習社）を使います。各時間の終わりの10分間に、その前の時間の講義内容を確認する小テストを実施します。この小テストの点数の合計が、平常点となり、100点満点の50%になります。最後の時間に定期考査を実施しますが、事前に問う分野、事項を大まかに予告しますので、落ち着いて講義に臨んでください。		
	回	内容	
	1	①生命とは何か。（生物と無生物の違い。） ②細胞の発見（細胞研究の歴史 ③生命の最小単位である細胞内の細胞小器官の構造と働き ④細胞分画法（小器官の成分や働きの解明方法）	
	2	⑤細胞をつくっている原形質の組成 ⑥生体内の化学反応と酵素の働き ⑦酵素の基質特異性（各酵素の働く物質が異なっていること。）	

授業内容	3	⑧細胞膜の働き（浸透、および浸透圧。選択的透過性とそのしくみである能動輸送。） ⑨成長や増殖の手段となる体細胞分裂の過程 ⑩細胞の分化と組織化（細胞が形態や機能が特殊化して組織を作っていくしくみ。）
	4	生殖と発生①子孫を増やしていく生殖の方法 ②体が分裂して増殖する無性生殖。③雄雌がつくる配偶子の合体による増殖方法。④配偶子をつくる過程の減数分裂 ⑤精子や卵の形成
	5	⑥卵割の様式（受精卵の初期の細胞分裂の過程）⑦発生学の基本（ウニとカエルの発生過程）⑧カエルの卵割により、各箇所・各細胞が特殊化していくしくみ ⑨形成体の働き（分化を誘導していく部分）
	6	遺伝①遺伝学の出発・遺伝の法則 ②メンデルの功績と三大法則 ③メンデルの法則に当てはまらないいろいろな遺伝現象
	7	④遺伝子と染色体（遺伝子はどこに存在するか） ⑤連鎖と組み替え（染色体上の遺伝子の行動）⑥染色体地図（特定の遺伝子がどのように染色体上に存在するか。） ⑦雌雄を決定する性染色体に遺伝子が存在した場合の遺伝様式
	8	⑧遺伝子の本体の究明（肺炎双球菌による形質転換、バクテリオファージの増殖方法） ⑨DNAの構造と複製方法、遺伝情報とは、どのようにして発現させるのか。
	9	動物の反応①刺激の受容と感覚について ②目の構造（網膜の視細胞、光量の調節、遠近の調節） ③耳の構造（聞こえるしくみ、平衡感覚、化学物質の受容など）
	10	④神経単位であるニューロンの構造と機能 ⑤興奮がどのように神経線維を伝っていくか、どのようにして次のニューロンに伝達するか。
	11	⑥神経系（種類、脳や脊髄の中樞神経系と末梢神経系）の構造とその働き ②動物の反応と行動（筋収縮のしくみ）
	12	⑧恒常性と体液 ⑨血液の組成と働き ⑩動物ホルモンの働き。⑪自律神経系の働き
	13	⑫水分や浸透圧を調節する。 ⑬血糖値を一定に保つしくみ ⑭体温を一定に保つしくみ
	14	⑮腎臓の働き ⑯肝臓のはたらき 植物の反応 ①植物の水分の吸収と移動 ②光合成と呼吸 ③植物の反応と調節 ④ホルモンによる成長の調節。
	15	⑤いろいろな植物ホルモン（果実の成熟、細胞分裂、気孔の開閉、落葉、落果など）⑥花芽の形成の調節。⑦種子の発芽の調節。
	16	定期試験を50分間実施する。出題は6問、分野・内容・傾向は15回目の授業の後半に概要を連絡する。
	キーワード	毎時間の積み重ね
	教科書・教材・参考書	教科書「高等学校 改訂生物Ⅰ」（第一学習社）、毎時間サブノート形式のプリントを準備する。
成績評価の方法・基準等	小テスト15回分をまとめて50点分、定期考査を50点分として、合わせて100点で評価する。	
受講要件（履修条件）	全回出席が原則。教科書を必ず購入すること。	
本科目の位置づけ		
学習・教育目標		
備考（URL）		
備考（準備学習等）		



タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 自由選択科目**」
 シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	水5
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20130588015301	科目番号	05880153
授業科目名	●基礎数学		
編集担当教員	田元 正明		
授業担当教員名(科目責任者)	田元 正明		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	田元 正明		
科目分類	自由選択科目		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	講義科目
教室	[教養A棟]A-23		
対象学生（クラス等）	全学年		
担当教員Eメールアドレス	tamomasa2658@gmail.com		
担当教員研究室	非常勤講師控室		
担当教員TEL	<自宅>0956488620 <携帯>09079218332		
担当教員オフィスアワー	毎週水曜 15:00～		
授業のねらい	高校で学ぶ数学Ⅱの内容を説明し理解させ、大学で学ぶ数学に対法できるようにする。また、演習問題を数多く解くことにより、公式を身につけ活用できるようにする。		
授業方法（学習指導法）	高校で使用する教科書及び参考書から重要な公式や要点を抜き出してプリントし、授業の中で解説を加えていく。また、授業で解説でした内容に関する演習問題を解くことにより、公式等を身につけていく。		
授業到達目標	高校で身につけておくべき数学Ⅱの内容を理解し、経済学部・水産学部・環境学部で学ぶ数学に対応できるようにする。		
	テキストは使用せず、高校で使用する教科書や参考書等から抜き出した重要な公式や要点をまとめたプリントを配布し、それに沿って解説を行なっていく。また、解説した内容の演習問題を解くことにより、公式を覚えそれを活用できるようにしていく。		
	回	内容	
	1	◇基礎学力診断テスト Ⅰ 整式の分数式の計算 1. 多項式の除去 2. 分数式の計算	
	2	Ⅱ 等式不等式の証明 1. 恒等式 2. 等式の証明 3. 不等式の証明	
	3	Ⅲ 複素数と方程式 1. 複素数 2. 二次方程式の解と判別式	
	4	3. 二次方程式の解と係数の関係 4. 高次方程式	

授業内容	5	5. 二次方程式の実数解の符号 6. 二次方程式の実数解と実数の大小	
	6	IV図形と方程式 1. 平面上の点 2. 直線の方程式	
	7	V指数関数 1. 指数の拡張 2. 指数関数	
	8	VI対数関数 1. 対数の定義 2. 対数の性質 3. 対数関数	
	9	◇中間テスト（8回目までの範囲）	
	10	VII微分法とその応用 1. 極限と導関数（関数の極限、微分係数、微分法の公式）	
	11	2. 接線・増減・極値 （1）接線の方程式、関数の増減、関数の極値	
	12	（2）三次関数の性質、最大・最小、方程式の実数解の個数	
	13	VIII積分法とその応用 1. 不定積分・定積分	
	14	2. 定積分で表された関数 3. 面積	
	15	IX確率分布 1. 度数分布 2. 資料の代表値 3. 標準偏差 4. 確率分布	
	16	◇前期末テスト（中間テスト以降から確率分布まで）	
	キーワード	1時間1時間のの授業を大切にし、予習・復習を確実にを行う。	
	教科書・教材・参考書	高校で学んだ教科書および参考書等から重要な公式や要点をまとめたプリント	
	成績評価の方法・基準等	評価は中間テストと期末テストの平均点、毎時間の抗議の受講態度、課題の提出状況等を総合的に判断して評価する。	
	受講要件（履修条件）	15回の講義に毎時間出席すること。	
本科目の位置づけ			
学習・教育目標			
備考（URL）			
備考（準備学習等）			



タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 自由選択科目**」
 シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	水6
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20130588015302	科目番号	05880153
授業科目名	●基礎数学		
編集担当教員	田元 正明		
授業担当教員名(科目責任者)	田元 正明		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	田元 正明		
科目分類	自由選択科目		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	講義科目
教室	[教養A棟]A-23		
対象学生（クラス等）	全学年		
担当教員Eメールアドレス	tamomasa2658@gmail.com		
担当教員研究室	非常勤講師控室		
担当教員TEL	<自宅>0956488620 <携帯>09079218332		
担当教員オフィスアワー	毎週水曜 15:00～		
授業のねらい	高校で学ぶ数学Ⅱの内容を説明し理解させ、大学で学ぶ数学に対法できるようにする。また、演習問題を数多く解くことにより、公式を身につけ活用できるようにする。		
授業方法（学習指導法）	高校で使用する教科書及び参考書から重要な公式や要点を抜き出してプリントし、授業の中で解説を加えていく。また、授業で解説でした内容に関する演習問題を解くことにより、公式等を身につけていく。		
授業到達目標	高校で身につけておくべき数学Ⅱの内容を理解し、経済学部・水産学部・環境学部で学ぶ数学に対応できるようにする。		
	テキストは使用せず、高校で使用する教科書や参考書等から抜き出した重要な公式や要点をまとめたプリントを配布し、それに沿って解説を行なっていく。また、解説した内容の演習問題を解くことにより、公式を覚えそれを活用できるようにしていく。		
	回	内容	
	1	◇基礎学力診断テスト Ⅰ 整式の分数式の計算 1. 多項式の除去 2. 分数式の計算	
	2	Ⅱ 等式不等式の証明 1. 恒等式 2. 等式の証明 3. 不等式の証明	
	3	Ⅲ 複素数と方程式 1. 複素数 2. 二次方程式の解と判別式	
	4	3. 二次方程式の解と係数の関係 4. 高次方程式	

授業内容	5	5. 二次方程式の実数解の符号 6. 二次方程式の実数解と実数の大小	
	6	IV図形と方程式 1. 平面上の点 2. 直線の方程式	
	7	V指数関数 1. 指数の拡張 2. 指数関数	
	8	VI対数関数 1. 対数の定義 2. 対数の性質 3. 対数関数	
	9	◇中間テスト（8回目までの範囲）	
	10	VII微分法とその応用 1. 極限と導関数（関数の極限、微分係数、微分法の公式）	
	11	2. 接線・増減・極値 (1) 接線の方程式、関数の増減、関数の極値	
	12	(2) 三次関数の性質、最大・最小、方程式の実数解の個数	
	13	VIII積分法とその応用 1. 不定積分・定積分	
	14	2. 定積分で表された関数 3. 面積	
	15	IX確率分布 1. 度数分布 2. 資料の代表値 3. 標準偏差 4. 確率分布	
	16	◇前期末テスト（中間テスト以降から確率分布まで）	
	キーワード	1時間1時間のの授業を大切にし、予習・復習を確実にを行う。	
	教科書・教材・参考書	高校で学んだ教科書および参考書等から重要な公式や要点をまとめたプリント	
	成績評価の方法・基準等	評価は中間テストと期末テストの平均点、毎時間の抗議の受講態度、課題の提出状況等を総合的に判断して評価する。	
	受講要件（履修条件）	15回の講義に毎時間出席すること。	
本科目の位置づけ			
学習・教育目標			
備考（URL）			
備考（準備学習等）			



タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 自由選択科目**」
 シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	水5
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20130588015303	科目番号	05880153
授業科目名	●基礎数学		
編集担当教員	田元 正明		
授業担当教員名(科目責任者)	田元 正明		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	田元 正明		
科目分類	自由選択科目		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	講義科目
教室	[教養D棟]D-27		
対象学生（クラス等）	全学年		
担当教員Eメールアドレス	tamomasa2658@gmail.com		
担当教員研究室	非常勤講師控室		
担当教員TEL	<自宅>0956488620 <携帯>09079218332		
担当教員オフィスアワー	毎週水曜 15:00～		
授業のねらい	高校で学ぶ数学Ⅱの内容を説明し理解させ、大学で学ぶ数学に対応できるようにする。また、演習問題を数多く解くことにより、公式を身につけ活用できるようにする。		
授業方法（学習指導法）	高校で使用する教科書及び参考書等から重要な公式や要点を抜き出してプリントし、授業の中で解説を加えていく。また、授業で解説した内容に関する演習問題を解くことにより、公式等を身につけていく。		
授業到達目標	高校で身につけておくべき数学Ⅱの内容を理解し、経済学部・水産学部・環境学部で学ぶ数学に対応できるようにする。		
	テキストは使用せず、高校で使用する教科書や参考書等から抜き出した重要な公式や要点をまとめたプリントを配布し、それに沿って解説を行なっていく。また、解説した内容の演習問題を解くことにより、公式を覚えそれを活用できるようにしていく。		
	回	内容	
	1	◇基礎学力診断テスト Ⅰ 整式の分数式の計算 1. 多項式の除去 2. 分数式の計算	
	2	Ⅱ 等式不等式の証明 1. 恒等式 2. 等式の証明 3. 不等式の証明	
	3	Ⅲ 複素数と方程式 1. 複素数 2. 二次方程式の解と判別式	
	4	3. 二次方程式の解と係数の関係 4. 高次方程式	

授業内容	5	5. 二次方程式の実数解の符号 6. 二次方程式の実数解と実数の大小	
	6	IV図形と方程式 1. 平面上の点 2. 直線の方程式	
	7	V指数関数 1. 指数の拡張 2. 指数関数	
	8	VI対数関数 1. 対数の定義 2. 対数の性質 3. 対数関数	
	9	◇中間テスト（8回目までの範囲）	
	10	VII微分法とその応用 1. 極限と導関数（関数の極限、微分係数、微分法の公式）	
	11	2. 接線・増減・極値 （1）接線の方程式、関数の増減、関数の極値	
	12	（2）三次関数の性質、最大・最小、方程式の実数解の個数	
	13	VIII積分法とその応用 1. 不定積分・定積分	
	14	2. 定積分で表された関数 3. 面積	
	15	IX確率分布 1. 度数分布 2. 資料の代表値 3. 標準偏差 4. 確率分布	
	16	◇前期末テスト（中間テスト以降から確率分布まで）	
	キーワード	1時間1時間のの授業を大切にし、予習・復習を確実に行う。	
	教科書・教材・参考書	高校で学んだ教科書および参考書等から重要な公式や要点をまとめたプリントを配布する	
	成績評価の方法・基準等	評価は中間テストと期末テストの平均点、毎時間の抗議の受講態度、課題の提出状況等を総合的に判断して評価する。	
	受講要件（履修条件）	15回の講義に毎時間出席すること。	
本科目の位置づけ			
学習・教育目標			
備考（URL）			
備考（準備学習等）			



タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 自由選択科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	水5
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20130588015401	科目番号	05880154
授業科目名	●基礎英語		
編集担当教員	金子 修司		
授業担当教員名(科目責任者)	金子 修司		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	金子 修司		
科目分類	自由選択科目		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	講義科目
教室	[教養A棟]A-31		
対象学生（クラス等）	全学生		
担当教員Eメールアドレス	skaneko@mxm.cncm.ne.jp		
担当教員研究室	非常勤講師室		
担当教員TEL	095-845-0369		
担当教員オフィスアワー			
授業のねらい	<p>高校英語の既習事項に習熟し、大学英語に対応できる基礎力を養成することをねらいとする。テキストを使って使用頻度の高い基本構文、熟語、語法、文法、語彙力を身につける。これらの基礎力に基づき、精読演習を通して長文読解力の養成に努める。また、リスニングや音読を行い聞き取りの基礎を学ぶことにより、大学英語へ繋がるようにする。</p>		
授業方法（学習指導法）	<p>演習および講義形式とする。（1）基本構文習熟のために問題集を使用する。加えてプリント教材等を使用し応用力を習得する。また、熟語、語法、基本文法の運用力を身につける。（2）英文読解のプリント教材を使用し、パラグラフリーディングの基礎、評論文読解法を習得する。（3）音声教材を使用し、概要と情報を正確に聞き取る力を習得する。（4）学習内容について、毎時小テストを行い定着を図る。</p>		
授業到達目標	<p>（1）高等学校までの既習の基本構文、語法、文法、熟語、語彙等を習得し運用できるようにする。（2）英文の大意把握、評論文の読み方に習熟し、大学英語や専門課程で使用する教科書、資料を精読し、内容を理解できるようにする。（3）強勢、イントネーション、区切りなどの基本的な聞き取りとともに、情報の意味・内容や話し手の意図を理解できるようにする。</p>		
	<p>（1）授業最初に復習のための小テストを行う。出題内容は、基本構文の定着度をみるために和文英訳、整序英作文、空所補充英文完成等。また、熟語、語彙問題も含む。 （2）英語構文問題集を使って演習を行い、基本的な構文及び、熟語、文法、語彙を確認し定着を図る。 （3）リーディング用プリント教材を使って読解力を身につける。主題に沿った内容把握の方法を習得する。 ○使用問題集：①英語構文問題集 ②演習英文プリント：読解力養成 ③辞書使用</p>		
	回	内容	
	1	<p>オリエンテーション（授業の進め方について） ○英語基礎テスト （1）Itを中心とした構文</p>	

授業内容	2	(2) 助動詞を使った構文 ○プリント教材 (パラグラフの基本的な構造)
	3	(3) 不定詞を使った構文 ①PASSAGE-1 (プリント) Listening-1
	4	(4) 動名詞を使った構文 ②PASSAGE-2 (プリント)
	5	(5) 分詞を使った構文 ③PASSAGE-3 (プリント) Listening-2
	6	(6) 第5文型の構文 ④PASSAGE-4 (プリント)
	7	(7) 比較構文 ⑤PASSAGE-5 (プリント) Listening-3
	8	中間テスト (8) 時を表す構文
	9	(9) 関係詞を使った構文 ⑥PASSAGE-6 (プリント) Listening-4
	10	(10) 条件・仮定を表す構文 ⑦PASSAGE-7 (プリント)
	11	(11) 譲歩を表す構文 ⑧PASSAGE-8 (プリント) Listening-5
	12	(12) 相関関係を表す構文 ⑨PASSAGE-9 (プリント)
	13	(13) 否定構文 ⑩PASSAGE-10 (プリント) Listening-6
	14	(14) 無生物主語と名詞構文 ⑪PASSAGE-11 (プリント)
	15	(15) その他の構文 (プリント) ⑫PASSAGE-12 (プリント) Listening-7
	16	定期試験
	キーワード	基本的な構文、文法、語法、熟語、長文の読み方の習熟
教科書・教材・参考書	英語構文 (2週間完成) (学内書店にて販売) 長文プリントを基本的に毎時配付する。英語辞書を授業には持参すること。授業用ノートを持参すること。	
成績評価の方法・基準等	(1) 定期考査 60% (2) 中間テスト 30% (1) 授業中の発表 (小テストを含む) 10%	
受講要件 (履修条件)	全回出席を原則とする。	
本科目の位置づけ		
学習・教育目標		
備考 (URL)		
備考 (準備学習等)		



タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 自由選択科目**」
 シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	水5
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20130588015403	科目番号	05880154
授業科目名	●基礎英語		
編集担当教員	金子 修司		
授業担当教員名(科目責任者)	金子 修司		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	金子 修司		
科目分類	自由選択科目		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	講義科目
教室	[教養A棟]A-33		
対象学生（クラス等）	全学生		
担当教員Eメールアドレス	skaneko@mx.ncm.ne.jp		
担当教員研究室	非常勤講師室		
担当教員TEL	095-845-0369		
担当教員オフィスアワー			
授業のねらい	<p>高校英語の既習事項に習熟し、大学英語に対応できる基礎力を養成することをねらいとする。テキストを使って使用頻度の高い基本構文、熟語、語法、文法、語彙力を身につける。これらの基礎力に基づき、精読演習を通して長文読解力の養成に努める。また、リスニングや音読を行い聞き取りの基礎を学ぶことにより、大学英語へ繋がるようにする。</p>		
授業方法（学習指導法）	<p>演習および講義形式とする。（1）基本構文習熟のために問題集を使用する。加えてプリント教材等を使用し応用力を習得する。また、熟語、語法、基本文法の運用力を身につける。（2）英文読解のプリント教材を使用し、パラグラフリーディングの基礎、評論文読解法を習得する。（3）音声教材を使用し、概要と情報を正確に聞き取る力を習得する。（4）学習内容について、毎時小テストを行い定着を図る。</p>		
授業到達目標	<p>（1）高等学校までの既習の基本構文、語法、文法、熟語、語彙等を習得し運用できるようにする。（2）英文の大意把握、評論文の読み方に習熟し、大学英語や専門課程で使用する教科書、資料を精読し、内容を理解できるようにする。（3）強勢、イントネーション、区切りなどの基本的な聞き取りとともに、情報の意味・内容や話し手の意図を理解できるようにする。</p>		
	<p>（1）授業最初に復習のための小テストを行う。出題内容は、基本構文の定着度をみるために和文英訳、整序英作文、空所補充英文完成等。また、熟語、語彙問題も含む。 （2）英語構文問題集を使って演習を行い、基本的な構文及び、熟語、文法、語彙を確認し定着を図る。 （3）リーディング用プリント教材を使って読解力を身につける。主題に沿った内容把握の方法を習得する。 ○使用問題集：①英語構文問題集 ②演習英文プリント：読解力養成 ③辞書使用</p>		
	回	内容	
	1	<p>オリエンテーション（授業の進め方について） ○英語基礎テスト （1）Itを中心とした構文</p>	

授業内容	2	(2) 助動詞を使った構文 ○プリント教材 (パラグラフの基本的な構造)
	3	(3) 不定詞を使った構文 ①PASSAGE-1 (プリント) Listening-1
	4	(4) 動名詞を使った構文 ②PASSAGE-2 (プリント)
	5	(5) 分詞を使った構文 ③PASSAGE-3 (プリント) Listening-2
	6	(6) 第5文型の構文 ④PASSAGE-4 (プリント)
	7	(7) 比較構文 ⑤PASSAGE-5 (プリント) Listening-3
	8	中間テスト (8) 時を表す構文
	9	(9) 関係詞を使った構文 ⑥PASSAGE-6 (プリント) Listening-4
	10	(10) 条件・仮定を表す構文 ⑦PASSAGE-7 (プリント)
	11	(11) 譲歩を表す構文 ⑧PASSAGE-8 (プリント) Listening-5
	12	(12) 相関関係を表す構文 ⑨PASSAGE-9 (プリント)
	13	(13) 否定構文 ⑩PASSAGE-10 (プリント) Listening-6
	14	(14) 無生物主語と名詞構文 ⑪PASSAGE-11 (プリント)
	15	(15) その他の構文 (プリント) ⑫PASSAGE-12 (プリント) Listening-7
	16	定期試験
	キーワード	基本的な構文、文法、語法、熟語、長文の読み方の習熟
教科書・教材・参考書	英語構文 (2週間完成) (学内書店にて販売) 長文プリントを基本的に毎時配付する。英語辞書を授業には持参すること。授業用ノートを持参すること。	
成績評価の方法・基準等	(1) 定期考査 60% (2) 中間テスト 30% (1) 授業中の発表 (小テストを含む) 10%	
受講要件 (履修条件)	全回出席を原則とする。	
本科目の位置づけ		
学習・教育目標		
備考 (URL)		
備考 (準備学習等)		



タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 自由選択科目**」
 シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	水5
開講期間			
必修選択	選択	単位数	1.0
時間割コード	20130588020901	科目番号	05880209
授業科目名	●English for Specific Purposes (A)		
編集担当教員	廣江 顕		
授業担当教員名(科目責任者)	廣江 顕		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	廣江 顕		
科目分類	自由選択科目		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	演習科目
教室	[教養C棟]C-35(call1)		
対象学生（クラス等）	全学部対象		
担当教員Eメールアドレス	ahiroe@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	言語教育研究センター廣江研究室（環境科学部1階）		
担当教員TEL	095-819-2378		
担当教員オフィスアワー	メールにより随時受付		
授業のねらい	この授業では、TOEIC対策に特化した形での演習を徹底的に行うことにより、まずTOEICの問題形式に慣れ、どのような学習法がTOEICの飛躍的スコア・アップにつながるかを教授する。また、英語力一般にも資するような形での解説を行う。		
授業方法（学習指導法）	授業の前半では、リスニングのテストゼミを行い、その後、ポイントを押さえた形での解答解説を行う。授業の後半では、テキストを用いて少なくともDrillを3セクションずつ進んでいく形式とする。学生は、TOEICあるいはTOEIC-IPを必ず受験すること。		
授業到達目標	受講する学生には、全員550点をクリアしてもらいたい。		
授業内容	回	内容	
	1	Listening 1, Drill 1-3	
	2	Listening 2, Drill 4-6	
	3	Listening 3, Drill 7-9	
	4	Listening 4, Drill 10-12	
	5	Listening 5, Drill 13-15	
	6	Listening 6, Drill 16-18	
	7	Listening 7, Drill 19-21	
	8	Listening 8, Drill 22-24	
	9	Listening 9, Drill 25-27	
	10	Listening 10, Drill 28-30	
	11	Listening 11, Drill 31-33	
	12	Listening 12, Drill 34-36	

	13	Listening 13, プリント教材
	14	Sample Test (1)
	15	Sample Test (2)
	16	
キーワード	TOEIC, listening, grammar, reading	
教科書・教材・参考書	David E. Bramley・中井弘一著, New Steps to Success in the TOEIC Test Grammar & Reading 550, 松柏社, 1,100円 (税別)	
成績評価の方法・基準等	授業時に行うリスニングテスト(30%), 授業時の取り組み(30%), Sample Test (40%) ただし、学生が自発的に受験したTOEICあるいはTOEIC-IPで入学時のスコアより30点以上伸びた学生には10点を,50点以上伸びた学生には20点、それぞれ総合成績に加点する。	
受講要件 (履修条件)		
本科目の位置づけ		
学習・教育目標	各学部で目標として設定されているTOEICのスコアを見据えて、計画的に得点をアップさせていきたい。また、そのための自学自習教材として、本学の3Step CALL System及びPower Wordsに真剣に取り組むこと。	
備考 (URL)		
備考 (準備学習等)		



タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 自由選択科目**」
 シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	水5
開講期間			
必修選択	選択	単位数	1.0
時間割コード	20130588021001	科目番号	05880210
授業科目名	●English for Specific Purposes (B)		
編集担当教員	廣江 顕		
授業担当教員名(科目責任者)	廣江 顕		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	廣江 顕		
科目分類	自由選択科目		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	演習科目
教室	[教養C棟]C-35(call1)		
対象学生（クラス等）	全学部対象		
担当教員Eメールアドレス	ahiroe@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	言語教育研究センター廣江研究室（環境科学部1階）		
担当教員TEL	095-819-2378		
担当教員オフィスアワー	メールにより随時受付		
授業のねらい	この授業では、TOEIC対策に特化した形での演習を徹底的に行うことにより、まずTOEICの問題形式に慣れ、どのような学習法がTOEICの飛躍的スコア・アップにつながるかを教授する。また、英語力一般にも資するような形での解説を行う。		
授業方法（学習指導法）	授業の前半では、リスニングのテストゼミを行い、その後、ポイントを押さえた形での解答解説を行う。授業の後半では、テキストを用いて少なくともDrillを3セクションずつ進んでいく形式とする。学生は、TOEICあるいはTOEIC-IPを必ず受験すること。		
授業到達目標	受講する学生には、全員600点をクリアしてもらいたい。		
授業内容	回	内容	
	1	Listening 1, Drill 1-3	
	2	Listening 2, Drill 4-6	
	3	Listening 3, Drill 7-9	
	4	Listening 4, Drill 10-12	
	5	Listening 5, Drill 13-15	
	6	Listening 6, Drill 16-18	
	7	Listening 7, Drill 19-21	
	8	Listening 8, Drill 22-24	
	9	Listening 9, Drill 25-27	
	10	Listening 10, Drill 28-30	
	11	Listening 11, Drill 31-33	
	12	Listening 12, Drill 34-36	

	13	Listening 13, プリント教材
	14	Sample Test (1)
	15	Sample Test (2)
	16	
キーワード	TOEIC, listening, grammar, reading	
教科書・教材・参考書	David E. Bramley・河合忠仁著, Score Goals in TOEIC Test 600 『600点をめざすTOEIC Test 対策問題集』, 松柏社, 998円 (税別)	
成績評価の方法・基準等	授業時に行うリスニングテスト(30%), 授業時の取り組み(30%), Sample Test (40%) ただし、学生が自発的に受験したTOEICあるいはTOEIC-IPで入学時のスコアより30点以上伸びた学生には10点を,50点以上伸びた学生には20点、それぞれ総合成績に加点する。	
受講要件 (履修条件)	前期のEnglish for Specific Purposes (A)を受講していたほうが望ましい。	
本科目の位置づけ		
学習・教育目標	各学部で目標として設定されているTOEICのスコアを見据えて、計画的に得点をアップさせていきたい。また、そのための自学自習教材として、本学の3Step CALL System及びPower Wordsに真剣に取り組むこと。	
備考 (URL)		
備考 (準備学習等)		



タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 自由選択科目**」
 シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	水5
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20130590090501	科目番号	05900905
授業科目名	●平和講座		
編集担当教員	戸田 清		
授業担当教員名(科目責任者)	戸田 清		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	戸田 清, 小峯 秀孝, 山崎 年子, 冨塚 明, 篠崎 正人, 黒滝 直弘		
科目分類	自由選択科目、総合科学科目、A科目 総合科目		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	講義科目
教室	[教養B棟]B-44		
対象学生（クラス等）	全学部 1年、2年、3年、4年		
担当教員Eメールアドレス	toda@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	環境科学部4階環404戸田教員室		
担当教員TEL	095-819-2726		
担当教員オフィスアワー	月曜15-17時		
授業のねらい	この文教キャンパスは三菱兵器製作所大橋工場の跡地であり、ここでは学徒動員令や女子挺身動員令などによって動員された多くの若者たちが航空機用魚雷の生産に従事中、原爆によって、その多くが爆死しました。敗戦後、日本人は「人間相互の関係を支配する崇高な理想を自覚し、国家再建の基礎を人類普遍の原理に求めて戦争を放棄し、平和を愛する諸国民の公正と信義に信頼して安全と生存を保持しよう」と決意しました。本講座は、その決意を受け継ぎ、平和を愛し探究心に富む学生諸君の思索と生活の原点に資すべく基礎的資料と基本的な分析理論を提供しようとするものである。		
授業方法（学習指導法）	各講義ごとに、担当講師が講義に使用するプリントを用意し、講義を行なう。講師によってはビデオ・DVD・スライドなども利用する。		
授業到達目標	戦争の実態についての認識を深め、世界の情勢を深く理解し、基本的人権を尊重して自由と平和を愛する文化国家の建設に努める態度を身につける。		
授業内容	講義内容は多岐にわたるので、以下のように各講師がそれぞれテーマを掲げて講義する。		
	回	内容	
	1	4月10日 戸田 ナガサキから平和学する	
	2	4月17日 戸田 原爆と原発	
	3	4月24日 戸田 日本の戦争犯罪	
	4	5月1日 戸田 ベトナム枯葉作戦と劣化ウラン弾	
	5	5月8日 戸田 民衆法廷	
	6	5月15日 戸田 ゲスト西岡由香 世界から見たナガサキ 90分間世界一周	
	7	5月22日 西岡由香 原爆とキリスト教	
	8	5月29日 小峰秀孝 私の被爆・被爆後体験	

	9	6月5日 山崎年子 二重被爆の父と生きる
	10	6月12日 冨塚明 核兵器廃絶運動と原爆症裁判
	11	6月19日 冨塚明 日米安保体制と原発
	12	6月26日 篠崎正人 有事体制と長崎・佐世保①
	13	7月3日 篠崎正人 有事体制と長崎・佐世保②
	14	7月10日 黒滝直弘 健康格差について①
	15	7月17日 黒滝直弘 健康格差について②
	16	7月24日 まとめ
キーワード	昭和史、戦争、アヘン、原爆、劣化ウラン、原発、枯葉剤、有事体制、アフガン戦争、イラク戦争、構造的暴力	
教科書・教材・参考書	特定の教科書は用いないが、プリント資料を適宜配布し、またスライド、DVD、ビデオなどを利用して、講義の理解を深めるのに役立つ。参考書は、高橋真司・舟越編『ナガサキから平和学する』法律文化社2009年、戸田清『核発電を問う』法律文化社2012年、など。	
成績評価の方法・基準等	出席を欠かさず、受講することを重視する立場から、講義への取り組みの積極性と担当講師が課したレポートの成績を総合的に評価する。	
受講要件（履修条件）	受講要件は特にない。	
本科目の位置づけ	被爆地長崎の大学に学ぶ学生としての基本的な教養を身につけるための科目である。	
学習・教育目標	戦争と平和、暴力と平和についての理解力と洞察力を具体的な事例の学習を通じて深める。	
備考（URL）	http://todakiyosi.web.fc2.com/	
備考（準備学習等）	書籍、新聞、テレビ、インターネットなどを通じて、戦争と平和、暴力と平和に関する日本と世界の動向に関心を持つことが望ましい。	



タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 自由選択科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	水5
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20130590090502	科目番号	05900905
授業科目名	●平和講座		
編集担当教員	戸田 清		
授業担当教員名(科目責任者)	戸田 清		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	戸田 清, 安部 俊二, 国武 雅子, 関口 達夫, 安井 幸子, 藤田 祐幸		
科目分類	自由選択科目、総合科学科目、A科目 総合科目		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	講義科目
教室	[教養C棟]C-16		
対象学生（クラス等）	全学部 1年、2年、3年、4年		
担当教員Eメールアドレス	toda@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	環境科学部4階環404戸田教員室		
担当教員TEL	095-819-2726		
担当教員オフィスアワー	月曜15-17時		
授業のねらい	この文教キャンパスは三菱兵器製作所大橋工場の跡地であり、ここでは学徒動員令や女子挺身動員令などによって動員された多くの若者たちが航空機用魚雷の生産に従事中、原爆によって、その多くが爆死しました。敗戦後、日本人は「人間相互の関係を支配する崇高な理想を自覚し、国家再建の基礎を人類普遍の原理に求めて戦争を放棄し、平和を愛する諸国民の公正と信義に信頼して安全と生存を保持しよう」と決意しました。本講座は、その決意を受け継ぎ、平和を愛し探究心に富む学生諸君の思索と生活の原点に資すべく基礎的資料と基本的な分析理論を提供しようとするものである。		
授業方法（学習指導法）	各講義ごとに、担当講師が講義に使用するプリントを用意し、講義を行なう。講師によってはビデオ・DVD・スライドなども利用する。		
授業到達目標	戦争の実態についての認識を深め、世界の情勢を深く理解し、基本的人権を尊重して自由と平和を愛する文化国家の建設に努める態度を身につける。		
授業内容	講義内容は多岐にわたるので、以下のように各講師がそれぞれテーマを掲げて講義する。		
	回	内容	
	1	10月2日 戸田 ナガサキから平和学する	
	2	10月9日 国武雅子 女性の戦争協力	
	3	10月16日 国武 銃後の生活	
	4	10月23日 国武 日本軍「慰安婦」問題	
	5	10月30日 国武 日本軍「慰安婦」問題②	
	6	11月6日 安部俊二 大正期・長崎を襲ったスペイン・インフルエンザ	
	7	11月13日 安部 知識人の総力戦認識 水野広徳を中心に	
8	11月20日 安部 100年遅れのアヘン戦争としての15年戦争①		

	9	11月27日 安部 100年遅れのアヘン戦争としての15年戦争②
	10	12月4日 安部 私の被爆体験－安井幸子さんの講話①
	11	12月11日 安部 私の被爆体験－安井幸子さんの講話②
	12	12月18日 藤田祐幸 福島原発事故
	13	12月25日 藤田 日本の政策と潜在核武装
	14	1月8日 関口達夫 長崎原爆を報道する①
	15	1月15日 関口 長崎原爆を報道する②
	16	1月22日 まとめ
キーワード	昭和史、戦争、アヘン、原爆、劣化ウラン、原発、枯葉剤、有事体制、アフガン戦争、イラク戦争、構造的暴力	
教科書・教材・参考書	特定の教科書は用いないが、プリント資料を適宜配布し、またスライド、DVD、ビデオなどを利用して、講義の理解を深めるのに役立つ。参考書は、高橋真司・舟越編『ナガサキから平和学する』法律文化社2009年、戸田清『核発電を問う』法律文化社2012年、など。	
成績評価の方法・基準等	出席を欠かさず、受講することを重視する立場から、講義への取り組みの積極性と担当講師が課したレポートの成績を総合的に評価する。	
受講要件（履修条件）	受講要件は特にない。	
本科目の位置づけ	被爆地長崎の大学に学ぶ学生としての基本的な教養を身につけるための科目である。	
学習・教育目標	戦争と平和、暴力と平和についての理解力と洞察力を具体的な事例の学習を通じて深める。	
備考（URL）	http://todakiyosi.web.fc2.com/	
備考（準備学習等）	書籍、新聞、テレビ、インターネットなどを通じて、戦争と平和、暴力と平和に関する日本と世界の動向に関心を持つことが望ましい。	



タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 自由選択科目**」
 シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	水5																				
開講期間																							
必修選択	選択	単位数	2.0																				
時間割コード	20130590090601	科目番号	05900906																				
授業科目名	●キャリア概論																						
編集担当教員	深尾 典男																						
授業担当教員名(科目責任者)	深尾 典男																						
授業担当教員名(オムニバス科目等)	深尾 典男																						
科目分類	自由選択科目、総合科学科目																						
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	講義科目																				
教室	[教養A棟]A-24																						
対象学生（クラス等）	全学部																						
担当教員Eメールアドレス	fukao@nagasaki-u.ac.jp																						
担当教員研究室	広報戦略本部（事務局棟2F）																						
担当教員TEL	819-2008																						
担当教員オフィスアワー																							
授業のねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・自己と社会の関係について学ぶ。 ・社会参画のために必要とされるスキルについて学ぶ。 ・大学での学びが社会人としての素養にどのように関係するかを理解する。 ・勤労観と職業観を育み、キャリアデザインのための考え方と行動につなげるための手法を身につける。 																						
授業方法（学習指導法）	教科書は用いず、配布する授業内容のレジュメに基づいて授業を進める。適宜、討論の時間を設け、受講生は授業内で発表を行う。多面的な知識、基本的な素養を身につけてもらうため、数名のゲスト講師を招聘する予定。																						
授業到達目標	大学生生活を通じた学びのために、それぞれが社会参画に対する意識を高めることを授業の狙いとする。授業を通して自らのキャリアデザインを行い、学士課程教育で身につけるべき素養の目標設定を行う。																						
授業内容	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>キャリア概論の概要と狙い</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>社会理解1（業種・職種の理解）</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>自己分析1</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>社会参画で求められる素養</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>社会理解2（起業について）</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>社会理解3（事業継承について）</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>自己分析2（スキル・リソース）</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>自己分析3（目的・目標）</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>社会参画で求められる能力1（文章表現）</td> </tr> </tbody> </table>			回	内容	1	キャリア概論の概要と狙い	2	社会理解1（業種・職種の理解）	3	自己分析1	4	社会参画で求められる素養	5	社会理解2（起業について）	6	社会理解3（事業継承について）	7	自己分析2（スキル・リソース）	8	自己分析3（目的・目標）	9	社会参画で求められる能力1（文章表現）
回	内容																						
1	キャリア概論の概要と狙い																						
2	社会理解1（業種・職種の理解）																						
3	自己分析1																						
4	社会参画で求められる素養																						
5	社会理解2（起業について）																						
6	社会理解3（事業継承について）																						
7	自己分析2（スキル・リソース）																						
8	自己分析3（目的・目標）																						
9	社会参画で求められる能力1（文章表現）																						

	10	社会参画で求められる能力2（コミュニケーション）
	11	社会参画で求められる能力3（プレゼンテーション）
	12	社会参画で求められる能力4（就活の現場から）
	13	キャリアプランの作成
	14	キャリアプランの発表1
	15	キャリアプランの発表2
	16	
キーワード	キャリア、社会人基礎、コミュニケーション、プレゼンテーション	
教科書・教材・参考書	教科書は用いず、授業計画に沿ってパワーポイント等を使用して講義を行う。関係する資料等については、eラーニングシステムを利用して配布する。参考文献は適宜紹介する。	
成績評価の方法・基準等	出席状況と受講態度、予習・復習の状況、レポートの提出状況を総合的に評価する。	
受講要件（履修条件）	全講義を出席できることを受講要件とする。	
本科目の位置づけ		
学習・教育目標		
備考（URL）		
備考（準備学習等）		

